京城日報 朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

自動車運轉 航空機操縱
少年戰車兵、機甲部隊、自動車運轉手、航空兵となる方は來れ！運轉免許を得んとする方は來れ！自動車化に伴ひ自動車知識は國民必須の常識である。
航空知識なければ青少年の恥である。六ケ月卒一ケ月會費八十錢
【見本進呈】
東京市麴町區二番町七ノ三 國防科學知識普及會

敵護衛艦線を突破 船舶卅二隻撃沈
獨潜艦、四晝夜の猛攻

【ベルリン廿日同盟】獨總統大本營は二十日正午公報をもつて過去數日間にわたり行はれてゐた大西洋北部水域における獨潜水艦隊の戰果につき次の如く發表した

北部大西洋に活躍中の獨潜水艦隊は敵護送船團に對し數日に亘り猛攻を加へ船舶三十二隻、合計二十萬四千トンならびに驅逐艦一隻を撃沈した

【ベルリン廿日同盟】獨潜水艦隊は北大西洋で一擧に敵船舶卅二隻を撃沈し、通商破壊戰史上最大の戰果を擧げたが、廿日獨軍當局はその詳報を次の通り發表した

三月十六日拂曉北大西洋西部水域に作戰中の獨潜水艦隊は數個の敵船舶團を發見、折から西からの强風が吹きつのり敵船團はますますその姿を明瞭にして來た、敵船團は米國から英國へ向ふ途中のもので、いづれも物資、軍需品を滿載した中型ならびに大型船舶から成り、驅逐艦、コルベット艦多數によつて强力に護衛され荒波を蹴つて快速力で航行してゐた、獨潜水艦の一艦隊は敵船團追跡命令を受け直ちに行動を開始したが、同日正午ならびに夕刻天候がやゝ回復したので遂に敵船團と接觸するに成功した

かくして同日夜半獨潜水艦隊は放膽極まる奇襲攻撃を敢行、まづ十二隻合計七萬七千トンを撃沈、他の四隻にも魚雷を命中せしめたが、これら四隻も數刻後には沈沒、護衛中の敵驅逐艦、コルベット艦多數は船團の周圍を巡航しつゝ獨潜水艦の攻撃を撃退すべくあらゆる措置をとり、さらに暫くして陸上基地から飛來した大型爆撃機や大型飛行艇から飛び立つた飛行機など强力な敵空軍も加はり大西洋上に一大激戰が行はれたのである、獨潜水艦隊は晝夜にわたり間斷なく敵船團ならびに護衛艦隊に攻撃を加へ、撃退されてはまた攻撃するといふ繰返し極まりなき攻撃によつて敵の護衛艦線を突破、つぎからつぎへと成功を收めるに至つた

敵船團は終日つぎからつぎへと撃沈され、一潜水艦の如き護衛船團の間隙に突入驅逐艦一隻および大型油槽船一隻を撃沈するといふ有樣であつた

この間戰鬪水域は更に東方へと移動し敵空軍により防禦は一層嚴重となつて來た、獨潜水艦隊は猛烈な戰鬪を交へつゝもその最後の魚雷をもつて一齊に大攻撃を展開し、殘存する敵船舶群を四散せしめた、實にこの戰鬪は四晝夜にわたつて行はれ、結局敵は貨物船、貨客船、油槽船などを含め合計三十二隻、二十萬四千トンを失つたのである

海上警戒しつゝ進む我が輸送船(軍報道部提供・京畿道檢閱濟第一〇一號)

三月中の撃沈船舶 六十七萬五千トン

【ベルリン廿日同盟】獨總統大本營は廿日正午の公報をもつて敵船舶卅二隻廿萬四千トンの撃沈を發表したが、十九日のデニッツ、リカルディ兩大將間の獨伊海軍會談發表直後のことで幸先よしとした模樣で、ベルリン夕刊各紙はこれを大々的に掲載、異常な關心を示してゐる、ベルゼン・ツアイツング紙の如きは新戰果により三月中の通商破壊戰に於ける獨側の撃沈トン數は合計六十七萬五千トンに達したが、これは敵側にとつて甚だ不愉快な數字であらう、これにより潜水艦の脅威に對して今後米カナダ兩國は一層有効な協同を行ふと述べた米海軍長官ノックスの言葉は自己慰安に過ぎないと述べてゐる

右の三月上旬ならびに中旬の戰果には海上艦艇ならびに空軍の戰果は加算されてをらず、これが發表された暁には撃沈トン數はさらに增加するであらう、二月中の戰果は海上艦艇ならびに空軍の戰果を加算して五十六萬六千トンであるに比較し、三月にはすでに廿日間でしかも潜水艦のみで二月中の綜合撃沈トン數より十萬トン以上を増す成績を擧げたわけで、今回の大戰果は昨年七月末北氷洋に於いて卅八隻の大護送船團を攻撃、うち三十隻合計廿二萬七千トンを撃沈した北氷洋海戰に優かにその比を見る大戰果である

敗戰茶番會議に期待
獨潜水艦戰にノックスの悲鳴

【ブエノスアイレス廿日同盟】ドイツ潜水艦の活躍は日を追つて猛烈となり總統大本營發表によれば三月一日より同廿日に至るまでにすでに六十七萬五千トンを撃沈した旨發表してゐるが、ワシントン來電によれば海軍長官ノックスは廿日大西洋における通商破壊戰の熾烈化に關し次の如く言明したと傳へられる

大西洋における反樞軸護送船團に對する潜水艦の攻撃は明かに激化してゐる、ドイツ軍が反樞軸國の計畫を破壊する所有武器として潜水艦を使用してゐることは明かである、しかし過般の米英カナダ三國對潜水艦會議により今後は緊密な協力が行はれるであらう

さらにニューヨーク來電によれば護送艦隊指揮官として大西洋の航海から歸つたラムゼー提督は同日記者團に對し次の如く語つた

ドイツ潜水艦に對する唯一の方法は現在より速力の早い護送艦ならびに飛行機をさらに多數持つことである、ドイツ潜水艦は多くの場合夜間に攻撃し優秀な速度で海上を逸走する、これら潜水艦は少くとも二十ノットの海上速力を有しコルベット艦ならびに捕鯨船改造の驅潜艇その他の護衛艦とは比較にならない、ドイツ潜水艦乘組員の訓練ならびに士氣もなほ優秀である

死傷者七千 佛盲爆の被害

【ビシー二十日同盟】フランス報道委員會は十九日反樞軸空軍の盲爆によるフランス人の死傷に關し次の如く發表した

反樞軸空軍の盲爆によるフランス人の犧牲は死傷者七千名に達し、女子約一千、兒童約一千を含んでゐる、空襲被害に對して本會は現在まで被害者に對し約一億フランを支出し、三萬家族を救恤した

フィリップス印度領袖會見

【イスタンブール廿一日同盟】ニューデリー來電＝目下マドラスに滯在中の遣印ルーズベルト特使ウイリアム・フイリップスは廿日前マドラス州首相にして印度政界の領袖であるラジャゴ・パラチャリヤと會見、卅分にわたり協議を遂げた

隨所に包圍戰展開
戰局、刻々ソ聯に不利
南部戰線

【ストックホルム廿日同盟】ハリコフ東方のチュグーエフ地區でドネツ左岸に到達した獨軍は怒濤の如く赤軍防衛線に殺到、隨所に果敢な包圍殲滅戰を展開中で戰況は刻々にソ聯側に不利に傾いてゐるやうだ

赤軍は二十日さらにクピャンスク地區から能ふ限りの豫備兵力を繰出してドネツ河畔一帶に布陣、絶望的抵抗を試みてをり半ば凍結した同河を挾んで一千台に上る獨ソ兩軍の戰車集團が入り亂れて大激戰を續けてゐるが、同方面の制空權は二十日朝來すでに獨軍の確保するところとなり獨急降下爆撃機の大編隊は息つく間もなく赤軍陣地を反復猛爆、抗戰力破碎に努めてゐる

中立筋の情報によれば獨軍は一地點でドネツ對岸に進出したと報じてゐるに對し、廿日のソ聯情報局發表は獨軍の渡河企圖を悉く撃退したと報じてゐるが、戰局不利は蔽ふべくもなくビー・ビー・シー放送もサンフランシスコ放送も聲を大にして『ハリコフ東方の赤軍は今や最大の危機に直面してゐる』と繰返し强調してゐる

他方ソ聯側は未だビエルゴロドの失陷を認めてゐないが、獨軍前線報道によれば獨軍はすでに數地點でドネツ河上流に達した模樣でクールスク地區の赤軍は後方から包圍の脅威に曝されてをり廿日にはすでに攻撃を停止して新陣地へ撤收する準備を整へてゐると傳へられる

赤軍の進出頓挫
中部戰線

【ストックホルム廿日同盟】ソ聯情報局は過般來南部戰線の不調を隱蔽するため中部戰線をことさらに强調してゐるが、戰局はこゝ數日來殆ど變化なく獨軍が計畫的に撤退した戰線を追つた點で辛うじて進出を許されてゐるやうだ

廿日正午までの報道によるとビヤジマ地區から出撃した赤軍はスモレンスク東北方五十哩のセドウーロボに到達した模樣だが、同地點で過去廿四時間立往生に陷り、またベールイ地區から南下した赤軍も縱横に交錯する小河川と無數に點在する沼澤のため作戰遂行に極度の困難を感じてゐるやうすで廿日のロイター通信も赤軍の進出遲々たるを認める反面『獨軍は頑强に抵抗せず專ら退避戰法を取つてゐる』と報じてゐる

他方イルメン湖南地區のチモシエンコ軍は依然スターラヤ南北から攻撃を加へてゐるが、獨軍のためその都度擊退されてをり未だなんらの戰果もあげてゐない

軍政下に心强し
各民族和樂の姿
山脇中將ボルネオ視察談

山脇中將

【クチン廿一日同盟】ボルネオ方面陸軍最高指揮官山脇中將は去る二月二十一日より一ヶ月にわたり東海州、西東州、ミリ州およびシブ州の一部を視察し、廿一日〇〇に歸還、視察の感想を左の如く語つた

◇着任以來先般のシブ州視察、今度の視察とでボルネオ全體をはじめて見たが非常に有意義であつた到る處で軍政委員の獻身的努力と各民族和樂の明るい姿を見て意を强くした、戰爭下日本に最も必要な各種產物が豫定通りどんどん生產されてゐる現狀は特に感銘深いものであつた、治安の確立、國防資源の獲得、軍の現地自給、この三大要目は今後ともわれわれ軍官民一體の努力によつてこれを遂行し大御心に副ひ奉らねばならない

ビサヤ視察より歸還 田中比島最高指揮官

【マニラ廿一日同盟】比島派遣軍最高指揮官田中靜壹中將は二月廿五日より約一ヶ月間に亘りビサヤ地方の軍事および民情視察中の處廿一日マニラに歸還した

ビルマ行政府長官一行 けふ首相訪問

【東京電話】入京第五日目のけふ廿二日バー・モ長官はモンミヤ內務長官、テーモン財務長官、オンサンビルマ防衛司令官とゝもに午後二時首相官邸に東條首相を訪問來京の挨拶を行ふ

狙擊師團九ヶ師團を殲滅
慘たり、ソ軍の損害

【ベルリン廿日同盟】デー・エヌ・ベー通信は獨軍のハリコフ、ビエルゴロド奪回作戰により二月十三日以降ドネツ、ドニエプル中間地帶において赤軍に興へた損害を次の通り發表した

一、殲滅された部隊 狙擊師團九個師、狙擊旅團六個旅、騎兵師團四個師、機甲旅團十個旅、戰車旅團廿五個旅、戰車旅團二個

一、大損害を被つた部隊 狙擊師團十九個師、騎兵師團五個師、機甲旅團四個旅、戰車旅團六個旅、對戰車砲旅團四個旅

總統大本營發表

【ベルリン廿日同盟】總統大本營發表＝

▲東部戰線

一、フォン・マンシュタイン元帥麾下の獨軍ならびに總統親衛隊はフォン・リヒトホーヘン元帥指揮下の獨空軍の緊密なる協力のもとにドネツ、ドニエプル兩河中間地區の反擊戰において赤軍に人的、物的に多大の損害を與へた、同方面において二月十三日以來敵が被つた損害は死者五萬、捕虜一萬九千五百九十四名、各種砲三千三百七十二門、戰車一千四百十台、各種重火器三千四十五、自動車一千八百四十六台に達した

一、ハリコフ、ビエルゴロド地區ならびにクールスク西北方では泥濘も敵の猛烈な抵抗も獨軍の前進を阻止することは出來ず、獨軍は數ケ所でドネツ上流に到達した

一、オリョール、ビヤジマ、スターラヤ、ルツサおよびレニングラード地區では赤軍は大打擊を被つた部隊に替へるに新鋭豫備隊をもつて攻擊に出て來たが、これらの敵部隊は獨軍の集中砲火を浴びて潰滅した

▲北阿戰線

一、チュニジヤ北部で樞軸軍は數個所の重要陣地を占領し、捕虜一千六百名を得、また戰車十六台、砲三十門、自動車多數を鹵獲乃至破壊した

一、獨空軍爆擊機隊はトリポリ港を急襲、港灣施設に大損害を與へ船舶數隻を炎上させた

中部チュニジヤに激戰

【リスボン廿日同盟】アルジェー來電によれば中部チュニジヤ樞軸軍は十九日ガフサ(カベ西北六十キロ)から行動を開始した米兵ならびに戰車部隊を同市南方のショット・エル・ゲツタール地區において邀擊、目下激烈な戰鬪が展開中と傳へられる

英の補給路遮斷
北阿戰線、樞軸軍活躍

【リスボン廿日同盟】前線報道によれば北部チュニジヤの樞軸軍は惡天候を冒し熾烈な敵の抵抗を蹴散し、さらに西進を續け、戰略的に重要な四七高地を含むネグレ岬一帶の地域を完全に掌中に收めるとともに、タバルカとマツールを通ずる道路の制壓に成功、この結果チュニジヤ海岸からの英第一軍左翼に對する補給は完全に遮斷されたと傳へられる

なほ同攻略戰において獨軍は夥しい軍需品を鹵獲し、英兵捕虜多數を得たといはれる

英伊捕虜交換發表

【リスボン廿日同盟】ロンドン來電＝英外務省は英、伊捕虜の交換につき廿日つぎの如く發表した

過去一年半にわたり英國に收容されてゐたイタリー海軍將兵七十八名、ドイツ船員廿五名ならびに一般イタリー市民五十名はトルコ政府の斡旋の下に近く同數の英將兵ならびに一般市民と交換されることになつた

愛蘭反英黨員脫獄

【リスボン廿日同盟】ロンドン來電＝北アイルランドのロンドンデリー市監獄に抑留中の反英秘密結社アイルランド共和軍黨員廿名が廿日脫獄、エール國境內に逃走したが、內十一名はエール軍隊に逮捕され殘餘は附近山中に遁入潛伏中である

脫走囚人は既に月餘にわたり獄中より秘密裡に地下トンネルをうがち廿日遂に地下道を完成一團となつて脫獄したものである

ボンベイで食糧割當制

【リスボン廿日同盟】印度の食糧不足は最近ますます深刻化してゐる模樣で、ロンドン・タイムスのボンベイ電によればボンベイでは四月から愈々主要穀物に配給割當制を實施することになり、現在までに約五十萬人に對し配給券が發行されたといはれる、なほボンベイ州政府の調査によれば同市の全人口は昨年に比し二十五萬の增加をみてゐると傳へられる

イラン民衆の不滿深刻化

【ストックホルム廿日同盟】ターグンソ・ポステン紙イスタンブール特電によれば、イラン駐留反樞軸國軍に對する民衆の不滿は最近ますます深刻化しつゝある樣子だ

ソ聯國境に近い同國最北部地區に有力な武裝民衆が蹶起したため援ソルートとして有名なペルシヤ灣よりテブリスに通ずる交通は各所に妨害されて數週間前から殆ど不通狀態となり、その結果援ソ物資は應急措置としてテヘラン市經由カスピ海を渡つてソ聯に送られてゐるが、このルートは輸送能力が著しく貧弱で、また急速な運搬は不能であるため反樞軸陣營を狼狽せしめてゐると傳へられる

蘇淮地區保安隊の戰果

【徐州廿一日同盟】蘇淮地區保安隊は昨年十月成立以來都司令統率の下に廣汎な剿共作戰に協力する一方、獨自の作戰を展開して共匪、土匪の討伐に活躍してゐるが二月中における綜合戰果は左の通り

交戰回數三四、敵遺棄死體八八七、鹵獲三四一、捕虜三四、鹵獲品 機銃一、小銃三〇、その他多數

光州商議官選議員

【光州電話】光州商工會議所の官選議員には相馬興作、鐘紡光州工場長川面隆平、東一銀行光州支店長高松宣勝の三氏が任命された

春季皇靈祭
宮中の御儀

【東京電話】廿一日宮中におかせられては天皇陛下御親祭のもとに春季皇靈祭ならびに神殿祭の御儀が嚴かに執り行はせられた、この日早旦より皇靈殿には、三條掌典長以下奉仕して嚴かなる御祭典が進められるうち、午前九時過ぎより高松宮殿下を始め奉り在京各皇族殿下にも御參列、東條首相以下文武官等も參列、三條掌典長恭しく祝詞を奏し奉れば天皇陛下には午前十時御束帶黄櫨染御袍の御裝も神々しく出御、御告文を奏せられて御拜禮、神武天皇を初め奉り御歴代天皇ならびに歴朝皇族の御靈を饗させ給ひ併せて皇國の彌榮を祈らせ給うたと承る、ついで皇太后陛下の御代拜を清水侍從が奉仕し、各皇族殿下の御拜禮、參列諸員の拜禮あつて御儀を終り、ついで神殿にも御同樣御儀が執り行はせられた

御儀の御後皇靈殿には、樂部樂師が奉仕して古式床しき東遊の舞樂が奏せられ畏く神靈を慰め奉つた、なほこの日午後零時半から同二時半まで有資格者に對し皇靈殿、神殿の參拜を許された

京日論壇
朝鮮に於けるアルミ工業
內野正夫

世には朝鮮における輕金屬製造技術の貧困を云ふ人があるかも知れない。それは過去における朝鮮の輕金屬事業が餘り華々しくなかつた結果のみから觀た皮相の考へである。然し過去における朝鮮の輕金屬製造は、アルミニウムの製造原料として明礬石又は粘土頁岩の如き所謂、國產原料のみを使用した結果、必然的に招來せる種々の困難に基因することを明かに認識して置く必要がある。所謂國產原料といふものは一般に珪酸含有量が多く諸外國では今日アルミニウムの原料として用ひ得なかつたものである。何れの國においてもアルミニウムの原料はボーキサイトと云ふ珪酸分の少い水酸化アルミニウムを主成分とする鑛石のみを用ひてゐる。ボーキサイト中の珪酸分は普通三%以下を用ひ不良品でも五%以上のものを用ふることは少い。然るに粘土頁岩や明礬石の珪酸分は少くても一〇%、多いものは四〇%に達するを以て、到底普通の方法ではこれから優良なるアルミニウムを製造することは困難である。

アルミニウム製造の發明家として有名な米人ホール博士でさへも、ボーキサイト鑛の不良品で珪酸含有量一〇%程度の鑛石から、優良なアルミニウムを製造せんと多年の苦心と工夫とを重ねながらも幾度か失敗したのである。漸くにしてこれに成功し、カナダに一大工場を建設、數年間その事業を繼けたが遂に先年これを中止するに至つたといふやうな難物である。況んやそれよりも遙かに難物たる粘土頁岩のやうな粘土類から優良なアルミニウムを製造するといふことはホールなどでも容易になし得なかつたのである。先年滿鐵から製造の專門家達にこの問題を提供しやうとしたことがあるが、彼等も遂に匙を投げたやうな次第である。

內地でも幾多のアルミニウム製造業者が幾度か失敗を重ね、遂にこれを放棄し今日では內地におけるアルミニウム製造業者は、全部ボーキサイトを唯一の原料とするに至つたのである。ボーキサイト鑛からアルミニウムを製造することは既に五十年の長い歴史を有し豐富なる經驗を積んでゐるが故に、我國でも今まで國產原料によつて苦しんだ業者が、ボーキサイト鑛に轉向して以來は大した苦勞もなく、多分に外國の經驗、技術をも取り入れて今日のやうな隆盛を來してゐるのである。

然らば何故に好んでボーキサイト以外の不良鑛を使用するの必要ありやといふことである。殊に時局多端な今日のやうな時代に何を苦しんで斯る困難な原料を使用する必要があるか、といふことである。これは云ふまでもなくボーキサイト鑛は、世界到る處に大量にあるものでなく、殊に良質のボーキサイト鑛は可なり限定されるのである。現に米國では自國のボーキサイトが不良なために遠く南米の蘭領ギアナから輸送し用ひてゐる。今日米國が年產六萬台の飛行機を製造すると豪語して大擴張をしてゐるが、飛行機を作るアルミニウムの原料たるボーキサイト鑛をどうして南米から輸送してゐるだらうか、といふことを考へるとそれさへ多大の疑問がある。假に一台の飛行機を作るのに八噸のアルミニウムが必要だとする。アルミニウム一噸を作るにはボーキサイトの五噸を必要とするから六萬台の飛行機を作るには二四〇萬噸のボーキサイトを輸送せねばならぬ。從つて飛行機製作工場の能力があつても、それから直ちに飛行機の製造數を數へる譯には參らぬ。

それは兎も角として良質のボーキサイト鑛が世界の何處にでも多量にないと云ふために珪酸分の多い不良鑛の利用といふことが、前歐洲大戰以來既に久しく世界的に技術者に興へられたる重要課題であつた。然るに今日朝鮮と滿洲においては全然ボーキサイト鑛を使用せず、手近に多量に賦存する粘土頁岩より優良なるアルミニウムを製造するに成功した。斯る至難な問題を解き得たと云ふことは、單に技術的な興味によつて評價せらるべきではない。

從來我國において、多年國產原料によりアルミニウムを製造する方針を樹てたのも、今日のやうな非常時局に役立てんとするに外ならなかつた。この國產原料によりアルミニウムを製造せんとする方針は、時に一張一弛あつて方針の動搖を免れなかつた。大東亞戰爭開始直前、驕戻なる米英の壓迫により、我國アルミニウムの原料たるボーキサイトの輸入が蘭印の手により押へられた時などは我國でも隨分當惑していろ〳〵の苦策が樹てられたことがある。大東亞戰爭が開始されると同時にこの問題は全部解決した如く考へられ、國產原料などは殆ど顧みられなくなつた。勿論わが勢力圏內のボーキサイト鑛の埋藏量も、その性質の優良なることも間違ひのない事實である。然し今日でも無制限に容易にボーキサイトを海を越えて南洋から輸送し得る狀態までになつたと考へるのは餘りに樂觀に過ぎるのではあるまいか。もし然りとするもボーキサイトの代りにゴムや、砂糖や、米や、油脂など南方より輸送する必要貨物に決して事缺かぬだらう。

從つて朝鮮や滿洲において今日粘土頁岩よりアルミニウムを製造し自給自足しをることは、かなり重要な意味を持つてゐる。この間において朝鮮では終始一貫國產原料によりアルミニウムを製造するの方針を確立しこれを遂行し得たことに對しては敬意を表してもよいと思ふ。勿論これを成し遂げたのに就ては色々の苦心と工夫と犧牲とが少くなかつたこと思ふが、これは全く國策に殉じたものであるから、技術者も經營者も本懷とすべきではあるまいか。而して國產原料によつて優良なるアルミニウムの製造に成功せる結果は、更に近き將來粘土頁岩の本場たる北支において大規模にアルミナ製造工場の設置さるべき端緒を作るに至つたのであるから、必ずや此等の技術は一層有意義なものとなるであらう。

而して朝鮮自體のアルミニウム製造原料は、ボーキサイト鑛輸送が容易になる時代においては漸次これに轉換するに至るべき運命を持つのは當然である。幸ひなことには國產原料で苦勞した朝鮮理研の鎭南浦工場も日窒興南工場も共に粘土頁岩の代りに、ボーキサイト鑛を使用する時は、更に遙に容易にこれを利用し得るのである。粟や稗を食つた胃袋に一等白米を食はしたよりも容易にかつ能率能くボーキサイト鑛から優良なるアルミナを製造し得ることは論ずるまでもない【筆者は工學博士、輕金屬統制會朝鮮支部長】

實費の保險
昭和十六年度御加入者の本年度(第三回目)御拂込額は下記の如く決定致しました
30年滿期・1000圓に付

10才 24.42	20才 26.12	30才 27.20
35才 29.50	40才 33.35	45才 38.33

相互組織 千代田生命

A-O 結核 免疫元
有馬・濱山・大阪・三國主創製
適應症
一 腺病體質 二 潛伏結核 三 肺浸潤
四 肺尖加答兒 五 肺門淋巴腺 六 喘息
七 初期肺結核 八 結核性腹膜炎 九 眼結核
十 肋膜炎 十一 腹膜炎 十二 外科的結核
十三 バセドウ氏病 十四 甲狀腺腫 其他
(說明書進呈)
製造元 有馬研究所
販賣元 株式會社 須美商店 大阪市東區備後町二丁目二十七

第一生命の決算好調
年度末契約高 六拾壹億五千七百萬圓 前期末に比し 十一億九千二百萬圓增加
新契約高 拾參億六百萬圓 前期に比し 一億五千七百萬圓增加
利息及配當收入 參千九百貳拾萬圓 平均準備金に對し 五分一厘五毛
收入保險料 貳億貳千參百萬圓 前期に比し 四千一百萬圓增收
死亡保險金 四千八百六十萬圓 死亡豫算に對し 七割四分一厘
曠古の大東亞戰を經過しつゝ帝國の興隆に巨額の保險金をお支拂しながら猶ほ實際の死亡は豫定より遙かに低し。
十二月八日加入各位の名に於て國防獻金へ合計百萬圓の感謝獻金をなせり。
責任準備金七億五千九百萬圓、配當資產九億四百萬圓(時價拾億參千四百萬圓)にして責任準備金と時價資產との開きは貳億五千五百萬圓なり。
本期事業上の剩餘金五千參百貳拾七萬圓。內七百九拾參萬圓を資產切下に用ひ四千萬圓を契約者配當に積立て配當準備金總額壹億參千貳百萬圓を有す
創立四十周年記念として一分四厘の臨時配當を決議せり。即ち三十七期以前の加入各位には合計五分の配當を爲すこととなれり。
案內書進呈
東京・日比谷 第一生命保險相互會社

南方宗教事情とその諸問題 A5判・三二五頁・定價一圓八〇錢 〒二五錢
執筆者 阿原謙藏・伊東延吉・板澤武雄・山本快龍・長井眞琴・木村日記・齋藤惣一・大久保幸次・宇野圓空
生活の新科學 理學博士 竹內時男著 A5判 價一・五〇 〒一〇 生活の科學化の喧しい現今一讀すべき一般向書。
日本の滑空飛行 淸水六之助著 價一・八〇 〒一〇 グライダーに關して理解を與へるべく小說的に書下した無二の力著。
新制 原價計算指導 佐藤晃文著 價二・〇〇 〒一〇 製造工業原價計算要綱を詳解せる會社工場關係者の必讀書。
東京開成館 東京小石川 振替東京五三二二

西川滿著 小說集 赤嵌記 (限定豪華版) 定價三・〇〇 〒三〇
臺灣文藝賞作品。讀書人の心を高め淸くする、著者得意の六大傑作を收む。
藤田嗣治 隨筆 地を泳ぐ 五・〇〇 〒四〇
小杉放庵 唐詩及唐詩人 三・五〇 〒三〇
富士川游 科學隨筆 醫史叢談 三・五〇 〒三〇
川嶋禾舟 隨筆 仰ぐ楠公 二・五〇 〒三〇
永雄節郎 工匠隨筆 人間と機械 二・五〇 〒三〇
書物展望社 東京神田 振替東京八〇八〇六

元祿風流侍 二・〇〇 雪崩 二・〇〇 懺悔の山窩 一・八〇
おんぼろ武勇記 一・八〇 種子島渡來記 一・八〇 野山に生きるもの 一・八〇
縛られ劍俠 一・八〇 女白虎隊 一・八〇 選ばれた男 一・八〇
白狼賊 一・八〇 鳥籠傳奇 一・八〇 孤島の魔人 一・八〇
江戸千兩首 二・〇〇 閻魔地藏 一・八〇 姿なき花嫁 一・八〇
駒下駄道中 一・八〇 名人竿忠 二・〇〇 支那服の女 一・八〇
佐々木邦 長篇名作撰 明暗街道 一・八〇 次男坊 一・八〇 ガラマサどん 一・八〇 負けない男 一・八〇 女人果 二・〇〇
名探偵 一・八〇 ほこ傳 新刊1.90 育教 1.80
大白書房 東京市神田區錦町一ノ六 振替東京八三二五番

昭和書房 新刊近刊 東京市芝區新橋四ノ四六 振替東京三九一三〇番
長篇小說 幕末大調練 邦枝完二著 價一・三〇 送一五
北條九代記 鷲尾雨工著 價一・八〇 送一五
五日間の教へ子 濱本浩著 價一・八〇 送一五
學兵 足立直郎著 價一・〇〇 送一五
新らしき女性生活 價一・八〇 送一五
萬葉の生死觀 價一・五〇 送一五
理論生物學論叢 價三・〇〇 送一五
散りし父として伍長の 價一・〇〇 送一五
滿洲の民藝 價三・五〇 送一五
男性論 價一・八〇 送一五
★御註文 愈々書籍の買切制が實施されます。あらかじめ書店に御申込み下さい

社説　内地進學は嚴選主義へ

一

内地における上級學校への進學希望者は近年著しく増加しその入學率は十乃至廿パーセントの者を往來し、志願者數が定員の十倍乃至廿倍といふのが普通とされてゐる。從つて半島の子弟が、この際内地の上級學校に進學することは、決して容易な業でなく、非常に優秀にして且つ又明確なる自信を保持する者でない限り、その進學は極めて至難な事といはねばならない。かゝる状態に鑑み半島子弟指導の任に當る朝鮮奬學會川岸理事長が、半島の父兄、指導者、教育關係者等に對して『濫然たる内地進學をやめよ』と警告してゐることは、決戰下における半島子弟の訓育上將た又思想上、教育上に極めて時宜を得たる警告として重視すべきである。

二

卽ち川岸理事長談にある如く人物、學力、資力ともに充分に備はつた者であつて、しかも優秀な内地學生に伍して激烈な競爭試驗に合格出來得る明確なる自信がない限り、從來の如く半島から濫然内地に渡つて入學試驗に臨むことは斷じて許されないのである。それは全然無駄であるのみならず、若し入學出來なかつた場合に從來の如く豫備校その他これに類する學校に濫然入學させ、徒らに意義のない名ばかりの學籍にあつて放浪的生活を續けさせることによつて生ずるであらう訓育上並に思想的な危險は、想像以上に憂慮すべきものがあるからである。若し不幸にしてかゝる學生にして不ならば啻に當該子弟の將來の不幸たるのみならず、決戰下の今日これほど國家的に憂慮される不幸、不利益、危險はない。かゝる場合においては遠慮なくその子弟を半島に呼び返して決戰下與然の職域に奉仕せしむべきであること又川岸理事長談の通りである。

三

『現在内地に東京に多數在學する半島學生の中には非常に眞面目な者も多いが、中にはまだ〱思想的にも充分でなく、時局認識にも徹底してゐない者なしとしない。が、それ等不眞面目な學生はいづれも曖昧な學校に在學中の者である』との川岸理事長談はこのことを裏書きするものであつて、父兄並に教育關係者等にとつて最大の戒心を要することゝいはねばならない。いづれにせよ、かゝる一部少數の不良學生の介在によつて、半島學生全部の素質を云爲さることは甚だ遺憾なことであつてかゝる不眞面目な學生はこの際一掃して全半島學生の名譽を回復する意味においても、内地へ進學する學徒の資格の嚴選は半島教育界にかけられた重大責務といはねばならない。

四

併しながら、決戰下の重大時局が有爲なる學徒の進學を要請すると切なるは言を俟たない。加之、内地の大學、高專等の諸學校が有爲なる半島學生の進學を阻止してゐるやうな事實も絶對にない。内地各學校は素質の良好な志願者で激烈な競爭試驗に見事合格出來る自信滿々たる半島學生を歡迎してゐるのみでなく、時局の要請がかゝる有爲なる學徒の適當なき進學にある事は多言を要しない。從つて素質優秀にして實力これに伴ふ半島學生は須らく滿々たる自信を以つて積極的に内地に進學すべきである。だがかゝる内地諸學校に於ける進學率と競爭試驗に落伍した者の現状に鑑みる時、濫然たる進學の熱意を一掃し、飽くまで嚴選主義によつて悔を將來に殘さゞらんことを父兄並に教育關係者に切望して已まないのである。

印緬北部國境前線座談會
死んで堪るか
腦裡に浮ぶこの一語

【北部印緬國境〇〇にて廿一日同盟】山岳重疊たる北部印緬國境に敵を急追して戰ふわが將兵こそ南方圏に必勝不敗の堅陣を布く皇軍の最前衛である、印度を山一つ越えた指呼の間に臨んで『大君に捧げ奉りしわが命、今こそ捨つる時はきにけり』と南方の防人は雄々しく敢然として戰つてゐる、膺懲神武のわが精鋭の進擊を阻止せんと必死の反擊をつゞける敵との間に〇〇河一帶の山野は雨の如く飛び交ふ彼我の彈丸の炸裂に殆どその相貌を變へんとしてゐるが、特に敵空軍の執拗なゲリラ空襲下にあつて連日不眠不休の活躍をつゞける〇〇部隊の勇士を〇〇に訪れた記者は、五日〇〇部隊長の好意により北部印緬國境第一線に戰ふ將兵座談會を開くことを得た、以下は〇〇部隊長以下十一名の出席勇士が語るその生々しい現地報告である

記者　この印緬國境方面の最前線で戰ふ兵隊さん達の赤裸々な御體驗をどうぞ…

A伍長　われ〱が〇〇に來たのは二月〇日だつたが敵は對岸から機銃や小銃で射擊して來た對岸といつても僅か百五十メートル位なのでなか〱射擊も正確で油斷は出來ない、そこで〇〇日早曉午前四時を期してこの對岸の敵掃蕩に乘出した、私も一分隊を率ゐて舟艇で敵前上陸をやつた、その時の自分の任務は敵の掃蕩と同時に對岸のジャングル地帶を燒拂ふことであつた、そこで舟艇に薪や石油を澤山積込んで渡つた、丁度十五夜の月が冴えて〇〇河に映り戰場の氣が天地に漲つてゐた、敵はまさか日本軍が攻擊し來るとは知らず油斷してか少しも反擊して來ない、われ〱は悠々と渡河を完了し渡河點から五十メートル上流の敵のゐると思はれる竹藪に二軒屋に接近し思ひ切つて機銃彈を打ち込んだ、すると敵は慌てふためき大騷ぎをして忽ち山手のジャングルへ逃込んでしまつた、われわれは機を逸せず家に飛び込んで見ると暖しい血が流れてゐた、食器が散亂し狼狽の跡歴然たるものである、それから持つて來た薪木に石油をぶつかけ家を燒拂つた、しかしジャングルの燒打ちはその時は成功しなかつた、なにしろ物凄い密生した竹と樹木で枯葉とてなくとても燒き難かつた

B曹長　第一回の掃蕩後も未だ敵が對岸に出沒し執拗にこちらに射擊して來るので〇〇日十六時五十五分第二回の對岸掃蕩を敢行した、〇〇河の對岸は所謂三角地帶で、われ〱は三個分隊をもつて舟艇に分乘、ジャングル燒打ちの薪木や石油を積み〇〇高地よりする友軍の機銃、擲彈筒の掩護の下に敵前渡河を決行した、恰度潮の三分の二ほど（約百メートル）渡つた時對岸の上流と下流から急に猛烈な射擊を受けた『畜生やつゝけろ』と刀を對岸に薙ぎつけ敵の遺棄屍に突入した、この時のジャングル燒打ちも三時間かゝつて極く一部分燒拂つたのみで不成功に終つた

C軍曹　自分は〇〇の敵前上陸に參加したが、この第二回の敵前渡河では實際對岸から隊分隊を率つて來た『こゝで敵の彈丸で死んでなるものか』頭をかすめることはただこれのみでした、上陸して敵と交戰約四十分、岸から二百メートル前進してジャングルへ敗退せる敵はまるで猿の如く木を攀り岩を攀つて敗走した、この時も相當敵を屠したと思ふ

D一等兵　敵の一齊射擊を食つた時ハッと思つたが、今死んではならぬと思つて、だつと船艙に屈んでゐた一分二分は十分以上にも感じたが頭をあげると對岸がみえたので思ひ切つて飛び降りた、この時機銃を水中に落した、思はず水中に飛込んだが、水深二メートルもあらうか夢中で銃をとり上げ敵を屠つた時の嬉しさはなんともいへなかつた

E曹長　敵のゐた〇〇對岸は恐ろしく深いジャングル、たゞ兩岸に人間一人位歩けるやうな道がある、敵は〇〇の河沿ひところどころに一メートル五〇の深さある個人壕を掘りその中に隱れて狙擊して來る、うまく遮蔽してあるので眼鏡で見てもとても判らぬ、敵前渡河の際にやられた〇〇一等兵は死ぬまでしつかりしてゐた、傷をうけて對岸から後送されながらも『俺に銃を貸せ、敵を屠ち殺すのだ』といつて聞かなかつた、その意氣に戰友は思はず皆泣かされました

記者　敵空軍のゲリラ、敵反擊と戰ふ戰鬪の御苦心を…

F軍曹　こちらに來てから敵の空襲は一日平均四回乃至六回位である、一番來るのが十二時から廿時の間で三月に入ると敵は攻擊目標を變へ〇〇沿岸の重要地點を狙つて來るやうになり出した、〇日には十二時から十九時まで殆ど間斷なく二機乃至四機の編隊で來襲し〇〇渡河點附近を狙ひ空襲して來る、五十米平方に二百キロ爆彈を彈頭に爆彈四十發を惜氣もなく落して行つた、しかしわが地上對空陣は完璧で、この〇〇附近は猛烈しい彈幕を構成しどの角度からでも地上火器が火を吐き敵機を射擊出來るやうになつてゐる、われ〱は敵の空襲を決して恐れない、〇日空襲の時には敵機に對し部隊長自ら百發擊つてやられた

G上等兵　われ〱は敵機に對し防禦より攻擊である、〇日の空襲の時自分は六十發擊ちまくつた

H軍曹　〇日の空襲の時、自分は〇〇渡河點を狙つて空襲して來た敵戰鬪機を目掛けて對空擊から擊つた、すると機上から何かぱつと落ちて來るのが目にとまつた、空襲後急いで河原の方に出て見ると緑色の落下傘と双眼鏡が落ちてゐた、恐らく敵の操縱士が顏を出して下を偵察した時に落したものと思はれる、その時の戰鬪機は確かにカーチスP四〇型でせうか、アメリカのマークがはつきり目に留りました

I伍長　〇日の空襲の時彈が〇〇河中に落ちました、自分が對空壕から見ると一メートルもある大きな魚が白い腹を見せて三四浮び上つてゐる、これはうまいとばかり河原へ飛び降りて早速拾ひました、三匹とも鯉でとてもうまかつた、時々こんな空襲があるとよいな

記者　最前線における工兵隊の苦心を

J軍曹　兵用衛生地誌で調べると、ビルマは所謂瘴癘の地である、雨季にはマラリヤを始めにコレラ、赤痢、チフス、デング熱など、乾期にはペスト、天然痘が流行し僅〇〇日で約二千人の住民が死ぬといつた例が多々ある、自分はビルマに最初來た時これは大變なところだと思つたが、〇〇部隊ではすでに長期駐屯にも拘らずまだペスト、コレラ患者は一名も出てゐない、これは各隊の防疫班の活躍ならびに各兵の衛生思想の完璧によるものである、〇〇工兵隊の兵隊は今まで戰病なく活動して來たのであるが作業中に病人が出たといふことは一度もない、しかし作業中はマラリヤにかゝつてゐる兵もあるが皆自分が休んでは作業能率に支障を來し、延いてはわが作戰にも影響するのだといふ旺盛な責任感によつて病を克服し最後まで自己の任務を敢行するのである、工兵は敵彈雨飛の中に作業し、現在では敵機の空襲の中心は工兵隊の作業場所に集中される場合が多い、しかも默々として緣の下の力持ち的仕事をやり拔く工兵の苦勞は並大抵ではない

〇〇部隊長　最後に一言したい、われわれは今後とも工兵獨特の戰技の完成を圖り世界に誇るわが陸の工兵の傳統を遺憾なく發揮すべく日夜鍛成の道に邁進したいと思ふ、かくしてこそはじめて工兵に課せられた如何なる作業も完遂し、如何なる敵に對しても不敗の地位を持ちうるものと確信してゐる

敵の眞只中に突擊
將校斥候奮戰の最期

【北部印緬國境基地廿一日同盟】北部印緬國境附近に展開されたわが精鋭の英印軍に對する殲滅戰は敵必死の反擊に各所に壯烈な激戰が展開されたが中でも〇〇少尉の率ゐる將校斥候隊は自ら僅か十四名の部下をもつて敵大隊本部を急襲、二百名に上る敵の眞只中に果敢な突擊を行ひ、遂に敵を潰走させ、迫擊砲はじめ多數の武器を鹵獲、無電機一式を鹵獲し〇〇部隊の作戰行動に甚大な貢獻をなしたのであつた、その烈々たる攻擊精神と任務遂行のため敢然大敵に向ひ決死突入した氣魄はまさにわが陸の精鋭の華としてその武勳拔群なり部隊長の激賞を受けたのである

〇〇少尉はこの戰鬪に部下に率先軍刀を振ひ敵中に飛び込み忽ち〇名を斬り倒し獅子奮迅の勇戰中不幸一彈を腹部に受けたが、ひるまず血刀を揮つて『突擊、突擊』と絶叫しつゝ前進したが、つひて敵の射ち出すチエツコ機銃の一彈は少尉の頭部を貫通し『天皇陛下萬歲』を唱へて遂に壯烈な戰死を遂げた、これを眼の邊り見た十四名の部下は小隊長の仇を討てとばかり、十四名が火の玉のやうに一團となり、敵中に阿修羅の如く突到、斬り伏せ、つきまくり百餘名の敵を敗走せしめ、しかも十四名は擦り傷一つ受けず少尉の遺骸を擁り無事〇〇に生還したのであつた、以下は偵察隊の奮戰譚である

三月四日早朝　〇〇少尉は將校斥候として十四名の部下を率ゐるピンボン西方〇〇方面の敵状を偵察に出かけた、鬱蒼たるジャングルを踏破ピンボン西方〇〇キロのジャングル部落附近に進出すると、果して土人の情報通り敵有力部隊が部落内に駐屯してゐることを探知した、このまゝ引返して部隊に報告すべきか、突擊すべきか、〇〇少尉は暫く苦慮した、敵は日本軍の近接を全然氣がつかぬ様子である、よし斷然少尉は忽ち先制して敵中突擊の判斷を下した

十一時四十分　十四名の部下に一齊攻擊の命令を下すや、少尉は率先ジャングル中より軍刀を振りかざして敵のゐる部落に躍り込んだ、全然豫想だにしない降つて湧いたやうな日本軍の出現に敵の周章狼狽ぶりは、全く滑稽な位で、大部分武器はとつたが、なすところ知らず、早くも敗走するものが續出した、この機を逸んで少尉は『突擊、突込め』と絶叫しながら慌て立ち向ふ敵數名を一瞬にして斬り倒した、今までジャングルの中に踞まり返つてゐた部落は忽ち修羅場と化した、しかし僅か數分間にして大勢はすでに決した

〇〇少尉の機先を制した攻擊は敵に反擊の餘地を殘さぬほど疾風迅雷全く神業に近いものであつた、そして〇〇少尉は合せても僅か十五名で一百餘名の大敵を蹂躪し盡したのである、だが〇〇少尉は遂に壯烈なる戰死を遂げた少尉は敵を完膚なきまでに蹂躪し、潰走する敵を見ながら部下に護られてにつこりと笑つて護國の華と散つたのである

週間世界の動き
共榮圏の建設完し
日緬の緊密更に强化

過去一週間内に大東亞共榮圏の基礎を固める三つの出來事があつた

（一）專管租界還附に關する細目取極めの成立（十四日）

（二）東條首相の南京訪問（十二日から十五日）

（三）ビルマ行政府長官バー・モウ氏一行の來朝（十八日）

である、專管租界還附に關する細目取極めは一月九日の租界還附並に治外法權撤廢に關する協定に基くものでその後成立した協定實施に關する專門委員會に於いて協議した結果卅日の國府還都第三周年記念日を期しまづ在華八專管租界還附を實施すると決しこれが細目取極めの調印となつたもの、米英と重慶との間に出來たその空疎な追隨的協定とは全く内容を異にして帝國政府の誠意を立證したものとして感銘が深い

◇

東條首相の南京訪問は情報局の發表によると次の三つの目的をもつて行はれたものであつた

（一）汪主席の來朝に對する答訪

（二）中國の對米英宣戰に對する敬意

（三）共同戰爭完遂の方策に關する懇談

なほ歸國歸着と同時に發表された談話によると『帝國は更に今後の日華關係の發展に應じて既存の諸條約、約條についても同樣の趣旨（新事態に卽應し一切の新たな方針の下に日華關係を樹立する）に則り新たなる考慮を加へんことを決意してゐる』とのことである、以上によつても今回の首相の南京訪問は單なる儀禮以上の重要な政治的意義を有し日華關係新展開に鞏固な基礎を置いたものと推斷するに難しくない

バー・モ長官一行の來朝が日緬關係の一層緊密化を齎すべきものであることはいふまでもない、過般の帝國議會において東條首相が『帝國は遲くも本年中には現行政府をして管轄せしめつゝある區域をもつてビルマ國の建設を認めんとしてゐる』との劃期的な聲明を行つたことは、未だ吾々の記憶に生々しいが、爾來數ケ月を出でずしてバー・モ長官一行がわが政府の招請に應じて來朝したとは特に注目に値する

共榮圏建設の基礎は斯の如くして日夜その搖ぎなき地歩を固めつゝあるのであるがこれに對し敵側も焦燥を感じ最近特に『歐洲第一主義の是正』『對日攻勢の强化』の必要を强調しつゝあることは見逃し難い、敵側のかゝる態勢こそ逆に日本の戰力の鞏固さ大東亞共榮圏建設の堅實さを物語るものといへるのであるがこの機會に最近に於ける敵の對日方針の變轉振りを檢討して見よう

◇

カサブランカ會談で米英は作戰の根本的方針として『對歐先決主義』を決定した、當時發表された米政府の公報は『歐洲作戰を第一とし對日戰は後廻しとする』との原則の決定を報じ、東亞作戰については何ら言及してゐない、この點から見てもカサブランカ會談では假令第二義的なものにせよ對日戰については殆ど具體的決定を行はなかつたものと推定することが出來るのである、重慶や濠洲並に米國内の對日戰第一主義者達はこれに對し頗る不滿を感じ忽ち囂々たる非難の聲が捲起つたことはいふまでもない、加ふるに當時支那戰線、ビルマ戰線、西南太平洋戰線に於いて帝國陸海軍の威力は益々强化されこの事實が重慶側からも濠洲側からもまた西南太平洋方面の視察旅行を行つたアメリカ海軍長官ノツクスやアメリカ軍事評論家ヘンソン・ボールドウイン等からも續々ルーズベルトの下に報告されて來た

そこでルーズベルトとしては早急に對日共同戰の具體的決定を必要としまづ二月三日ワシントンに太平洋軍事會議を招集しついで米國陸軍航空隊司令アーノルドを重慶に派遣イギリスもこれに追隨して駐米軍事使節團主席デールを派遣した、アーノルドとデールは二月五日から七日まで重慶で蔣介石と膝を突きあはせて會談を行ひ『歐洲第一主義決定が必ずしも對日戰輕視に非ざること』を陳辯した上で種々具體的の作戰方針を討議した模樣である

當時敵はこの會談によつて『對日戰遂行の具體的方針について完全な意見の一致を見た』との發表を行つてゐる、重慶會談後アーノルドとデールは同機で印度カルカツタに赴きそこで更に東亞米軍總司令スチルウエル、米國印緬軍總司令ウエーベル、駐印英軍司令ソマービル、駐印重慶軍司令羅卓英らを交へて所謂『東亞反擊戰爭會議』を開催してゐるが、その内容は不明である、その他ウエーベルと西南太平洋反擊軍總司令マツカーサーの會見、二月十七日の濠洲太平洋軍事會議などがあり、いづれも對日作戰の具體的討議を行つたと報ぜられてゐる

◇

『歐洲先決主義』での非難を緩和し、更に日本と大東亞共榮圏との間の軍事的、政治的强化に應ずるため米英は一月から二月にかけて以上の如く頻繁な『會議』を開催してゐるのであるが、その結果果して『歐洲第一主義』にどの程度の修正が施されたかは明瞭でない、しかし同じころから最近にかけて恰も『東亞第一主義』への轉換をすら思はせるに足るやうな次の如き言動が現れつゝあることは注目に値しよう

（一）二月十七日の太平洋軍事會議に於いて元アメリカ極東艦隊司令官ヤーネルは『極東戰略は確立され吾々は東京がベルリンと同樣爆擊されることを豫想する』と述べた

（二）ノツクスはワシントン誕生記念日に『支那は對日攻擊の基地である、支那を基地とすることとカサブランカ及び重慶會議に謳はれた無條件降服の初めである』と强調した

（三）ルーズベルトは二月十二日『吾々は日本を單に島から島へと攻めて行く意圖はない、島から日本を轟擊するため日本に對し大規模且つ決定的な行動に出るだらう、支那上空でも重要な行動をとるだらう』と述べ、次いで同月十九日『最早これ以上極東戰線をいつまでも傍觀して遊ばかせるべきでない』と述べてゐる

◇

以上によつて吾々は少くとも敵が對日戰を急に修正し初め主として空軍による對日決戰を展開するべく準備を固めつゝあることを察することが出來よう、これは前記の如く大東亞共榮圏建設の不斷の進展と日本の戰力の强化が敵をして愈々焦燥を感ぜしめたことに起因することは縷述するまでもない、しかし敵が果して對日戰重點主義への大轉換を行つたところで、果してその決定通り實行が可能であるかどうかの問題が殘るが、結論の意味で左にこれを要約しよう

◇

その一は本來戰爭がどちらか一方に『第一主義』をとらざるを得ないことは兩面に於いて同時に勝利を得るほどの兵力の餘裕を有しないことに基いてゐる、從つて歐洲第一主義と同時に東亞重點主義を採用することは相對的に兵力の分散を招きいづれに於いても決定的な兵力の集結をなし得ないことを意味する

◇

その二は新たに決定された東亞作戰の根幹は對日空襲作戰であるとは今や明白である、而してこれがためには支那に基地を求めなければならないとされてゐることも明白である、然るに支那の基地を本格的對日空襲態勢に相應するほど强化するためには第一補給路の强化からして始めなければならない、飛行機はいふまでもなくガソリン、彈藥、修理工場施設など目下のところでは殆ど今後の輸送に俟たなければならないものばかりである、ところが現在唯一の補給路である印支空輸ルートは一日僅か十二、三機往復してゐるに過ぎず、重慶の最少限の要求の僅か百分の二を滿してゐるに過ぎないと言はれ、アメリカの武器貸與法による總輸出物資のうちで重慶向けのものが占めてゐる割合は極めて低く總額の七十分の一程度であるが、この物資すら全部を重慶に輸送し得ず半分は印度に滯貨してゐるといつた有樣である、從つて對日空襲の前提として先づ對支補給路の改善からして始めなければならぬ、そのためには結局ビルマルートの再開以外に方法がないとされてゐるのである、かくて敵は頻にビルマ奪回を狙つてゐるのであるがそれが如何に不可能事に近いものかは昨年末以來のビルマ戰況を顧みるまでもなく明かであらう

◇

第三は結局敵の對日空襲企圖は自己宣傳に終始し、現在の在支アメリカ空軍によるゲリラ的空襲によつて當面を糊塗する以外に方法はあるまい

生産物資の擴充
第一回東滿經濟懇談會

【牡丹江にて三輪特派員發】大滿洲國の穀倉地帶として、時局下の生産擴充、蔬菜開發の重要的地位にある東滿四省各商工會議所の第一回東滿經濟懇談會第一日は廿日午前十時廿分から牡丹江滿鐵厚生會館に於て滿洲國政府から生松經濟部司長以下七名、朝鮮側から咸北道小野産業部長、川細羅津府内務部長、森稅關長、光長、水島雄基商工會議所、高山羅津運輸部長以下關係者廿名、その他東滿四省からの代表者五十名列席開催、會場には日滿兩國旗が揭げられた、一段と緊張のうちに會議は開會、國民儀禮に次いで、佐倉牡丹江務理事開會の辭に始まり、終つて山内氏を議長に推選、議長の挨拶に次いで福田牡丹江省次長より、北鮮と東北滿洲の經濟提攜の必要性を强調した力强き意味の祝辭ありて十一時休憩、午前十一時十分再開、皇軍將兵に對する感謝電文の決議あつてのち、軍部の石川少佐の軍の現地支持と地方商業との關係、生松司長の生必物資を中心とする本年の經濟問題等の講演があり午後は一時開會、高倉殿司長の本年度東滿政策の重點に就いて、玉手林務所長の林業事情につき、總務廳津谷技師の東滿地域計劃並に東滿、北鮮通鑑計劃の經過概要についてそれ〲講演あり二時半一應休憩、二時五十分再開、山領牡丹江局長より東滿交通の運輸、高山羅津運輸部長の現下交通勞務と羅津港の積極的活用などにつき詳細に說明し引續き福田牡丹江省次長より牡丹江省の省政、福火田開拓總局長等の講演あり、終つて議事に入り一、東滿、北鮮、裏日本における經濟提攜の件外東滿各商工會議所並に北鮮から提出した九議案を一括上程審議に移り、牡丹江から議案提案理由の說明あつて同午後五時會議第一日を終了した

本社寄託獻金
―十九日扱―

國防獻金

【陸軍】▲六圓十錢　京畿道開城府大和町嶺北公立國民學校▲一圓　京畿道開城府大和町嶺北白石館易學校

【海軍】▲九圓三十五錢　京城竹添國民學校大山敏一

恤兵金

【陸軍】▲五十圓　京城府櫻井町二丁目原口一三

累計【國防獻金】八十七萬八千七百二十七圓八十三錢【恤兵金】二十三萬千八百三十八圓十五錢

總合計百十萬八千五百六十五圓九十八錢　別に貴金屬七十五點　京城梅洞公立國民學校四學年一同

曾仲鳴氏追悼式

【ハノイ廿一日同盟】先烈曾仲鳴氏救國の志半ばに仆れてここに四周年、今や汪主席指導下に國府の基礎いよ〱固きを加へ、佛印華僑も大東亞戰爭の一翼を擔ひつゝある時、曾仲鳴氏殉國記念日を迎へた在ハノイ華僑は廿一日午前十時より鄧禧中華總商會長の主催で各團體代表の參列のもと華僑代表辦事處代表理事會のもとに嚴かに追悼式をハノイにある墓前において擧行、式場には駐ハノイ總領事館員、日本側代表、華僑各界代表、小中學校、團體など約二百五十名が參列し殉國の烈士の靈を弔つた

隨想錄

明治から大正へかけての、新しい轉換をなし遂げた日本は、ある意味に於いて成長期にあつたともいへる▲從つて海外の科學を、文化を、攝取し咀嚼せねばならなかつたが、日本はその點で消化不良を起さず、血にするもの、肉にするもの、また棄つべきものと、あやまりなく區別し得た▲大東亞戰爭を戰ひぬく力も、これによつて養ふことが出來たと同時に、今こそ獨自の〃日本學〃によつて國民を養成せねばならない。師範學校の昇格は、まさにそれに備へ得るものである▲畏れ多くも明治天皇は、教育敕語に於かせられて〃學ヲ修メ〃ると共に〃德器ヲ成就〃することをお示しになつた▲學問とは、たゞ學科を身につけることだけでなく人を作ることであるが、これまでは〃學〃にこだはつて〃人〃を作りあげる點がおろそかになつて居るの缺があつた▲師範學校を昇格すると同時に、人を育てる人物をこゝで養成すべく教科書などにも大きな變革が示されたのは心强い限りといはねばならない▲學問はあるけれども人物の點では何うもと、首をかしげさせられるやうな人間を、誰しもが見て來た筈だと思ふ。これは從來の教育方針に缺陷があつたからだ▲家を建てるにも、堤防を築くにも、基礎工事がしつかりしなくてはならない。人間も國民學校で充分に鍛へられれば他日に於いて大をなす基は作れぬ▲師範學校を昇格して、ここで立派な先生を育て、その先生によつて人間の工事を充分にさせるとしたら、次代を負ふ人材の多く出ると期して待ち得るであらう

米英擊碎　あの手此の手
生産增强は生産の資源　國債投資は貯蓄の一資
秋田證券　京城府明治町二　電話本局五五一―五五②

ナリス　洗顔クリーム　曾場化學研究所

心臓　喘息の治療に　心力
◎精力體力弱き人◎動悸息切ある人◎結核肋膜熱の人
（二圓より）
心力本舖

厚生省衛生試驗所　官封付證明品
國際單位　A・五〇〇〇以上　D・一〇〇〇以上
服みよいA・D劑
腺病體質　虚弱體質　産前産後　貧血・弱視　疲勞・衰弱
大人一日二錠　小人一日一錠　六〇錠入二圓
ビタプラス
東京市芝區田町一ノ二十　森永藥品株式會社

齒痛ナラ　今治水！
齒痛良藥
一滴二滴…スット鎭る　有難さ！嬉しさ！
價　二十五錢　三十五錢　全國藥店にあり

擊て〱米英　擊ちてし止まむ
肺炎感冒に　デルモライツ
濕布は三十分
藤澤製品 D1816

◇獨學でリツパに中學が卒業出來る◇
國民中學講義錄
◎十五ケ月卒業◎會費一ケ月一圓八十錢　送料不要
◎獨學時代來る!!
十六歲で僅か十六ケ月で專檢合格　獨力實行
（獨學者に中學・高女卒業の資格を與へる試驗）に合格した者へ有資格者へ、徒の獨學は寧ろ成功へ卒業後種々の事情で上級學校へ行けない者は少くなく會へ入會し僅かな期間で然も短期間に中學・高女卒業の學力と資格を得られよ!!
創立四十年　第八十一回新學期開講
會員大募集（定員に達すれば直ちに締切る）
講義見本・無代進呈・入會案内
今スグ●●●　はがきで申込めば「講義見本」つき入會案内を無代で進呈します
東京・代々木驛前（明治神宮新參道）（財團法人公民教育會通信教育部）
大日本國民中學會
電話・四谷一二三一―二〇七番　振替・東京四二〇四〇番
◎獨學で完全に高女卒業が出來る
高等女學講義錄
◎一ケ年卒業◎會費一ケ月一圓五十錢　送料不要

商業登記公告

[illegible]

（自昭和十七年七月一日至昭和十七年十二月三十一日）決算公告

[illegible]

本社主催

撃ちてし止まむ

烈々、闘志は燃ゆる一突必殺

全鮮銃劍道大會迫る

"撃ちてし止まむ"の闘志を一突必殺の銃劍道に鍛へる全鮮銃劍道鍊成大會、大日本銃劍道振興會京城、羅南兩聯合支部、本社共同主催の下に總督府、朝鮮軍司令部後援で愈々來る廿五日の光州地區大會を皮切りに、大邱大會は廿七日、京城大會は卅日、平壤大會は四月二日、羅南及び咸興大會は四月中とそれぞれ開催期日が決定した、決戰下國民皆兵の本義に徹して、國民的意氣の昂揚、敢闘精神の鍊成、國防技能の錬磨を目指し日ごろ鍛へた成果を競ふこの各大會へは、在郷軍人、中等、專門及び大學生、更に青年訓練所生らが出場、勝つて愈々銃後にあがる逞しき國民武裝の軍國調を奏でるが、更に各部優勝者は朝鮮神宮奉賛武道大會出場へ推薦することになつてゐる

全支航空路

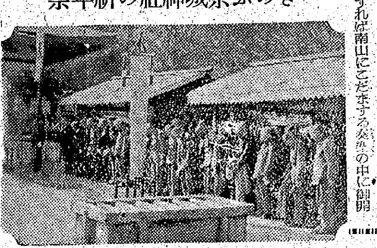
四月から復活強化

【南京廿一日同盟】中華航空會社では內地、大陸間並に大陸各地相互間の航空路の全面的強化を企劃し、今回これが具體的ダイヤを決定愈々來る四月一日より實施することになつた

新ダイヤによれば全支航空路が全面的に復活強化されてをりまづ北京―南京線、上海―漢口線は日曜日以外は毎日就航、北京を起點とする上海、包頭、大連各線は毎週三回、また蒙疆方面では中斷されてゐた上海―廣東線、廣東―海口線および廣東―汕頭線がそれぞれ復活し蒙疆方面では張家口、西ソニットおよび西ウヂムチン間に新空路が開拓される

五穀豊穣を祈る

きのふ京城神社の祈年祭



三百萬京畿道民の守護神國幣小社京城神社の祈年大祭は幣帛供進使高京畿道知事を迎へ廿一日午前十時官民、氏子總代三百名參列して嚴かに執行、供進使高知事祝詞に威儀を正し參進すれば南山にこだまする奏樂の中に御開扉、市宮司祝詞奏上あり御幣物奉供、供進使祝詞の後玉串は韓相龍氏、貴族會李重旭氏、文官松本道警察部長、武官厚地大佐、道民賀田直治氏、府民古市府尹、氏子石原磯次郎氏各代表順次奉奠し正午祈年式典を終へた【寫眞＝京城神社の祈年式典】

官公吏の道を説く

小磯總督 修鍊道場を視察

【龍岡溫泉にて小山田特派員發】平南道巡視三日目の小磯總督は廿一日午前九時宿舍平壤鐵道ホテルを出發先づ近くの道立官公吏修鍊所に赴き訓練を受けつゝある道內の中堅官公吏約四十名に向ひ

半島の大衆は未だ充分に皇民化されてゐないから先づ指導者が皇民としての信念と覺悟に徹しなければならぬ、鍊成は自分がその境地に進んで飛び込み行住坐臥その氣魄を昂揚せねば效果は期し難い、この鍊成を終つて歸任の上はこの信念を生産力增强にも庶政事務の刷新にも生かさねばならぬ、而して例へば農村の者は部下を鍊成するに當つて單に體操とか"みそぎ"などの形ばかりでなく必要な農業增產のための勤勞作業等もやり一石三鳥を狙ふやうにやれ、諸君の實務そのものが一つの鍊成だ

と訓示し次いで平壤第二陸軍特別志願兵訓練所に到り所長上住大佐から訓練狀況を聽き所內の設備を一巡し視察、生徒の一糸亂れぬ分列行進を査閱後

昨年十二月入所したばかりの諸君が元氣に訓練に勵んでゐるのをみて愉快だ、明年から徵兵制になるが諸君は押しも押されもせぬ皇軍の一員たるべくこゝで立派な指導者から訓練を受けてゐることを幸福と思はねばならぬ諸君は第一に感恩報謝の一念を持て、第二に後二ケ月のうちに半島青年の名譽のため立派な軍人となるやう努力して欲しい、それが總督としての小磯のお願ひだ

と、約十分に亘り繰返し訓示激勵した、次いで靴下工場として全鮮の優秀の三共靴下工場及び附屬鐵工所を視察、經營者德富瀧世氏親子を激勵、平壤博物館では小泉館長の案內で燦然たる樂浪文化の一切二千年の昔をしのび、乙密臺から水泳の妙技を見、大同江の流れを脚下に眺め、博物館で小泉館長の説明で日清役當時の牡丹臺攻略の模様を聽き、同十一時四十分牡丹臺を辭し牡丹峰の茶屋に入り晝食後平壤府大同郡の道立皇民鍊成道場着、道內各郡から集つた農村中堅青年一百七十名を前に『農村の中堅青年たれ』と訓示、大同郡龍山面、江西郡城岩面にある古墳里村落を視察、江西郡東津面朝鮮製鐵工場現場を視察、更に龍岡郡の試驗場を視察、日程を終つて午後六時過ぎ宿舍龍岡溫泉館におちついた

指導魂を磨く

總督府 第二回鍊成會始る

國家興亡の岐路に立つ未曾有の決戰下に旺盛なる責任感に燃え敢闘の熱血を沸らせ一路完勝への邁道を驀進するには陣頭に立つ指導者の不動信念と不斷の嚴しい鍊成が肝要だと總督府第二回指導者鍊成會が廿一日午後四時から龍山總督官邸を道場に嚴かに開かれた、鍊成をうける指導者は高等官四等以上の本府、各道、税務監督局、遞信局所在勤第一級の官吏四十七名で二週間この官邸道場に籠つて禊祓を捧げ、清掃に、鳥船に、禊、大祓の詞、神拜から、自習、學習、作業、教練と"行"によつて精神と肉體を鍛へに鍛へ抜かうといふのだ、國民服に身を固めた四十七人の指導者は無言のうちに六十數疊の道場大廣間に参集、鍊成所長田中政務總監代理大野學務局長、講師大家總督府鍊成部長列席して開式を破る太鼓を合圖に全員元氣一杯の點呼をうけ、國民儀禮を行ふ、ついで全員座し所長代理の大野局長から我が國未曾有の難局を打ち勝つためには指導者たるもの自らの德行に一意專念する精神と魄力を研鑽、日本的世界觀の鍊成が痛感されてゐる、幸ひに今回の鍊成會に入所した指導者諸君は嚴格な鍊成を受けて銃後國民に範を示さねばならぬと挨拶を莊重な語調で述べる、次いで大家講師から鍊成に對する心得の挨拶あつて同五時嚴格なる入所式を終つた、この日は各自規律ある自分の時間を許され、愈々廿二日から本格的鍊成に入る

寫眞＝總督府第二回指導者鍊成會（上）と開所した京城鐵道鍊成道場

京城鐵道でも

鍊成道場開く

決戰下、半島の輸送陣に旺盛な責任感を發揮して必勝不敗の態勢を示す京城地方鐵道局では全局員に皇道精神をガッチリと把握させ心身の陶冶を圖るため京城黒石町明水台上大觀莊に鍊成道場を開設、この道場開式と京城地方鐵道局第一回指導者鍊成講習會を春季皇靈祭の廿一日午前十時から颯々たる氣魄をこめて開催した、定刻本局から山田鐵道局長（代理）をはじめ小林理事、境鍊成道場長、宮原從業員養成所幹事も列席、京城鐵道局から大島局長、加藤總務、中村運輸、桑原運轉各部長以下幹部五十名が參加、式は加藤神職竹下祀掌祭主となつて執行、續き開場式を擧行、大島局長激勵の言葉を述べ、續いて山田鐵道局長（代理稻川整備課長）の訓示ののち受講者一同を代表して勝又車輛課長の力強い宣誓があつて萬歲を奉唱、同十一時嚴肅裡に式を閉じ直ちに鍊成課目に移つた、なほ同鍊成會は廿四日まで續ける

戰爭保險取扱指定會社
朝日海上火災

南京還都慶祝

青少年團出發

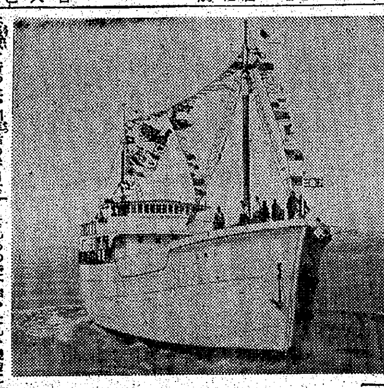
【東京電話】日本青少年を代表して國民政府南京還都三周年慶祝のため南京に向ふ大日本青少年團中國慶祝使節團一行二十二名は二十一日午前十時半團長鈴木孝雄大將に引率され宮城前にいたり皇居を遙拜多數の歡送をうけ午後一時五分東京驛發晴れの壯途についた

聞きませ"更生の御報告"

半島靖國の遺族感激の入京

【東京電話】軍人援護會朝鮮本部の斡旋による朝鮮第三回目の靖國神社參拜者ら遺族一行は香月主事に引率され廿一日朝帝都への第一歩を印した、この日帝都は彼岸の中日といふに寒さ一入きびしいものがあつたが、一行を迎へる出迎人には『是非ともお迎へしてから』と歸城を延ばした本府の木佐貫理事官をはじめとして總督府東京事務所々員、軍人援護會の吉成主事など數名、それに宿舍の勝山館の人々を交へて待ち侘れば同九時廿五分遺族列車は滑るやうに到着、白地にコバルト色で『朝鮮』と染め抜いた旗を持つ部隊長格の香月主事を先頭に一行十五名は元氣な足どりで降り立ち出迎人と和やかな交驩を行つた、昨年と一昨年の合祀祭に光榮の參列に浴してをり、いまはまた感激新たに英靈永へに鎭ります帝都の土を踏んだのだ、一同は宮城前廣場の砂利を踏みしめ二重橋前で清淨な遙拜を行つた、引率者の香月さんは語る

一行は長旅にも拘らずなんの故障もなく途中元氣で參りました遺族の方々は今回の靖國神社參拜を英靈に對し職域の第一線に起つて働いてをられる樣子を御報告されるのですが、それを機會にいよいよ生業報國の決意を固められその雄々しい決意を中途で挫折することなく最後まで全うされんことをひたすら祈つてやみません



今ぞ征け戰ふ海へ

半島初の計畫船竣成

【群山にて須山特派員發】戰ふ共榮圈を繋ぐ海運確保の決意を孕ませて遂に朝鮮の戰時標準型木造船第一船は竣工した―十七年度計畫造船に於いて戰時日の資材難を克服し朝鮮デーゼルの第一竿頭丸と群山鐵工造船の第十三和丸の二船が見事竣成し、春季皇靈祭の佳日を卜し廿一日正午から石田遞信局長、平井全北商業部長、馬場南內務部長、富岡京城地方遞信局長、櫻木朝鮮社長ら關係者をはじめ官民百餘名列席の下に二船の竣成式を群山港內の税關棧橋に繫留中の三和丸船內で嚴粛盛大に舉行した、昨年〇月〇日起工以來工員一丸となり夜を日についで造船に挺身、嚴寒の夜も吹き荒ぶ造船所に血みどろの敢鬪を續け努力報いられ日本一短時日の栄誉をかち得てこの日晴れの進水公式試運轉を行ふに至つたのだ、まづ造船師の新造船を背景に記念撮影を行ひ、群山造船正木取締、櫻木朝鮮社長、群山同和海運池社長の挨拶、石田遞信局長の告辭、金村全北知事の祝辭あつて萬歲を奉唱して閉式、祝盃をあげ野戰食を喰つて壯途を祝した、傳來の腕に新しい科學の磨きをかけた船大工の心意氣に打ち込まれた一本の釘、捻ぢ込まれた一個のナットにも敵米英撃滅の闘魂が宿つてゐる、海洋民族の血潮がいま再び機帆船を操つて洋々たる大東亞海の波濤を乘り切つて堂々と突き進むのだ、新裝なつた第一船は午後一時からエンジンの音も快調に彼岸日和に溶け込んで群山港の波浪を蹴立て約二時間に亘つて公式運轉を行ひ計畫速力〇浬を見事突破、沿岸歡呼の嵐を浴びて試運轉を終了した、石田遞信局長は語る

造船の急が叫ばれるとき從業員諸君の奮闘と、我等の作業によつて今日計畫造船の第一船が竣工したことは邦家のため大いに喜ばしい、この點造船主、船主、從業員に感謝の他はない、昭和十八年度は大きさに於いても量に於いても十七年度より能力、實力を一層集中して木造船建造に拍車をかけ海を制してゆく覺悟だ

正木中鮮造船工業組合理事長談 昨年計畫造船に着手以來資材の不足を工員の創意敢闘によつて補ひ零下一〇度の寒い夜も十一時まで作業を續け、今日眼のあたりにその完成をみてその間の苦勞も忘れたやうな喜びで一杯である、尊い經驗を活かして大いに頑張り續々と竣成させてゆく積りだ

長項の進水式

【群山にて須山特派員發】戰ふ船がこゝにも進水した、戰時標準型第六三國丸が忠南長項忠南機械造船所で進水、廿一日午後三時廿五分長項製鍊所安保所長の令孃和子さんの手斧によつて綱は切られ五彩の吹き流しは春風を孕み船架台を滑り落ちた、三國丸は撃ちてし止まむの氣魄そのまゝ群山海に躍り込んだ【寫眞＝滿船飾を施した三和丸】

京城鑛專合格者

探鑛學科 畠野勝明、有村康明、岩永伸清、小林信夫、加來恭助、松吉義人、鶴村在煥、諸富義馬、平川繁雄、福田良英、印丸博巳、藤部正毅、松尾貞俊、西田武、本城守彦、西原文、內田均、城後聰、土田亨、金藤恒彥、小野道三、土井秀夫、松本三男、幸森幸男、吉川孝胤、平島桂助、千川正斗、室家多見生、松尾茂明、山田秀雄、竹本恒正、栗原英夫、細野貫、川保和夫、加納一穀、木下弘、平本利夫、堀內惠彥、延安正男、小島潤、森秀雄、武田邦夫、江頭俊之、加來十四生、小長谷敏郎、松永文雄、杉屋勝巳、山口秀人、村林紀元、林淳弘（以上五十名）

冶金學科 糸永金次郎、高橋治德、田仁志、松島寬代嵐、岡泉、井芹充男、片山良也、杉原完二、中村浩二、蓮田拓、渡邊朋治、岩井保、諏訪博、溝佐誠太郎、和田保二、小林洸良、三輪誠、宮村政雄、下川裕爾、榆和田安正、小岩國三、大木武茂、手島傑、瀧澤弘、永野一喜、久保田勝、高岡繁、寺村勝二、藤田三郎、馬渡芳文、平松錫輔、吉原敏之、井上秀穂、岩村雅人、滿井行夫（以上卅五名）

鑛山機械學科 堀內謙吾、土橋敏清、井上岩男、神野黎、蒲永春也、長谷川二郎、茨木範夫、中川正明、博井潔、北岡聰一、小園井智夫、木下世義、河本哲雄、大木代一、吉野保（以上十五名）

西部ジャワを行く（五）

軍需要も現地で

猛暑バンドンの山を下りレンバンを經てチマヒに出る、チマヒには味噌醬油、酒の釀造工場があり、煙突から勢ひよく煙が上つてゐるから心強い、この生產は軍の現地需要を完全に充たし、更に他地域へも供出してゐるのである、チマヒからバナナの木が茂る街頭を抜けてチャンジュールへ、こゝはジャワでも最も良質の米がとれる、チャンジュールから再び高原に上つてスカブミに着く、警察學校があり、邦人教官の指導のもとに警察官の養成が行はれてゐる、去る一月末第一回卒業生を出した、雲で包まれたスラビンタカの宿舍で晝食をすまし、夕刻雨の中をボゴールに着く、夜來の雨がまだ止まない、翌朝日をさますと、島內で最も雨量が多いと云はれてゐる、此所には有名な植物園があり、軍政監部の官邸の裏庭に連なり、そこには往年奈良から運ばれて來たと傳へらる鹿が群をなして草を喰んでゐた

農園に翻る日章旗

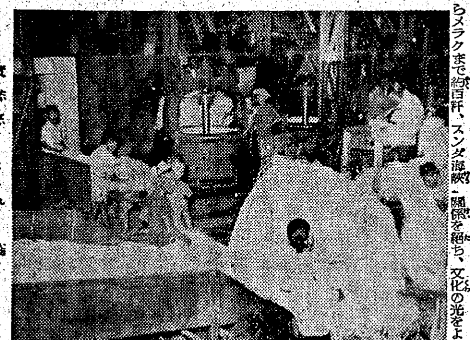
ボゴール市の東北にあるチプベル地方の私領地は蘭印政府時代奴隷の如く農民を酷使し、殘忍な種々の制裁によつて强制勞働を行つてきた歷史を持つてゐる、土地が治外法權の性格を持つてゐるため、悪事を働いた蘭人がこの私領地に潜入したくみに追手からのがれてゐた、そして生活に困ると、街道へ出て追ひ剝ぎをやるといふ始末で農民の收穫率も他の土地が四十パーセントであるのに對し、私領地は僅か五パーセントに過ぎず、生れてから死ぬまで搾取のもとにあへぐ絶望的な貧しい生活をしてきた、皇軍進攻に際し私領地の住民が一齊に地主の家を掠奪したことは彼等の復讐でもあつたらう、しかし今日記者がみる私領地はその悪政は微塵もない、皇軍を迎へて作つた手造りの日章旗が農園を飾つてへんぽんとひるがへり、朗色に滿ちてゐる、朗々とした農民は通りすぎる記者にも『タベ、タベ』（今日はの意味）と元氣よく言葉をかける、水田には三割增産を目指して涙ぐましい努力が續けられ全島生産高の三分の一に達する菜園には農民が嬉々と働き、豊穣な菜園もたくみに米、麻類の轉換によつて更生してゐる

激戰の跡生々し

ボゴールから車で三十分、街道から左に折れたボジョネロス、チプルリの兩村がその激戰地だ、三月三日、ルイリヤンの手前にあるクサダメ河の鐵橋が爆破されたため我が部隊は南方に迂回して強行渡河を行ひ、敵陣を粉碎すべく前進し、日が暮れるとともに行動を開始した、月明の下、部隊は散開したまゝじりじりと前進して行つた、正面の小高い丘に據る敵戰車が猛烈にうち出してきた、續いて右にも左にも火器が火を吹いた、前進は容易ではない、泥まみれになつてもぐらのやうに一歩々々進んだ、『突擊!』突如喊聲をあげるや、OO隊長が阿修羅の如く先頭に立ち、『續け』と叫んで丘に飛び込んで行つた、やうやく夜が白み、四日の朝を迎へたが、まだ敵は頑強に抵抗を續けてゐる、部隊は夜を待つてまたも夜襲を決行した、午前一時頃になつてやうやく敵の火器は鎭まり、遂に陣地を占領したのである

忠魂鎭る激戰の地

皇威幽境にも普ねし



…來つてゐた、我が方も多數の死傷者を出した、ドリアンの木茂る激戰の丘には當時の敵戰車が一台見捨てられたまゝ殘り、仰げば木の枝は折れ幹はさけたまゝいまに生々しい彈丸の跡が殘つてゐる、丘の中央には故伊藤今朝長少佐以下〇名の戰歿勇士の碑が建てられ、農民が捧げたのか、きれいな花が飾つてあつた、チプルリ村の小川のほとりにも故相澤俊雄大尉以下〇名の勇士の墓標が立つてゐた、鮮血に染つたかつての稲田はいま黄金の穂波に揺いでゐる、靜かな戰跡に聞える蛙の聲、降りしきつた雨もやみ彼方椰子林の上には美しい虹がかゝつてゐる、州境を越えバンテン州にさしかゝると、道は甚しく險しくゴム林に入つた、ランカスビトンまで約四十粁、緑一色に包まれてほの暗い道である

獰猛の部落チベウ

バンテン州はこのゴムの樹、米、林業に惠まれ、南部のジャングル地帯には石炭、錫、亜鉛、金、銀などの鑛物資源を埋藏して時に椰子の名産地として知られ、ラウヘンからメラクまで約百粁、スンダ海峽に面した海岸一帶に高々とそびえる椰子は一大防風林を形成し實に壯觀である、住民は純なスンダ人であるが、南部の山地にはスンダ人の特殊部落があつて、約三百六十年前イスラムの壓迫から逃れたヒンヅー教徒が、以來全く外界と交渉を絶ち、文化の光をよそに原始生活を營んでゐる

去る十二月廿四日十五人のバドイ族が皇軍治下の新しいバンテンに山を降りて來た、彼等はまことに親しく皇軍を訪問し長官に皇軍に對する忠誠を誓つたのである、その時の話では彼等が使つてゐる言葉は四百年前のスンダ語そのまゝで通じなかつたといふ、セランを去る百粁、チベウ村の彼等の部落は內城、外城に分れ、內城には昔と同樣四十家族より居住することをゆるされず、男子は十六歳になると皆外城に出され、外城で農耕を行ひ、內城の家長は絶對に外城へは出られず、家長が死ぬと、長男が外城から歸つて家系をつぐのである、外城から出て農耕を営む場合は絶對に中には入れないのである、また內城で悪事を働いた者は忽ち外城へ追放されるなど嚴格な掟があり、プウンといふ村長が一切の主權者である

街に溢れる日本語

部落長と別れた記者は皇軍上陸地バンテンを見るべく、バンテクランを經て西海岸に出た、蘭印軍が一つも殘さず破壞したこの附近の橋梁は全部復舊してゐる、やがて椰子の林をとほして潮流の早いスンダ海峽が見えてきた、海峽はるか火山で有名なクラカトウ島が浮び、その一方オランダの侵略以來三百年の…木標、そのかたはらに、上陸戰歿した陸軍兵長平坂保太郎以下五基の墓標が立つてゐる、その背後に忠魂碑があつた、三月一日夜、壯烈な海戰の中に敵前上陸を敢行した激戰を物語る二本の…上陸之地と書された碑が立ち、半島の突端、小閣の上に…

い間、此所の住民はあへぎ、苦しみいじけて、荒々しい氣性の住民となつた、皇軍上陸に際し椰子の蔭に日章旗をかざし、歡喜したのはけだし當然であらう、蘭印政府が此所の住民に手をやいて文化施設を行はなかつたのに反し皇軍上陸以來たちまち日本軍になつき、一番先に日本語をおぼえ、いまこの小さな町に一ぱい日本語があふれ、先程軍政監部がこの地を視察した時子供の日本語唱歌の上手なことに驚き、島內一だと折紙をつけられたのであるが、バンテンの現狀こそ、アジヤ解放の姿である、上陸以來一年間あまりにも大きな變革である、海邊を見れば夕陽をうけて靜かに浮ぶ漁船の姿も幸福さうであつた【寫眞＝サイザルの麻工場】

內職 愛國班で共同內職をし、その收益で貯蓄や債券購入をしてゐる實例と、厚生省職業局のよい內職案集です、婦人俱樂部四月號に發表してゐます

完全消化 作住向上に 100錠 1.80 1000錠 5.00 消化榮養劑 チアトミン錠 東京日本橋人形町三丁目 三共製藥株式會社

不正債券商に就て御注意 最近國債債券の普及に伴ひ各家庭を訪問し甘言を以て債券を持ち去り又は不當な安値で買取りこれを轉賣して暴利を貪る者があります 御家庭では斯る不正商人に乘じられぬよう特に御警戒御注意を願ひます 債券の安全保管には郵便局や日本勸業銀行で無料保管制度があります 日本勸業證券株式會社京城支店 京城府黃金町通一ノ一八

月やく 頑症の 患疾膚皮と痔に 外用カミックス

新發賣 女性ホルモン劑 エスチモン 生理不順 生理痛 頭痛 肩凝 冷感症 …など女性の生理障碍を內因的に治療する！

株式名義書換其他停止公告 來る四月一日より第十五回定時株主總會終結の日まで株式の名義書換及質權の登錄、抹消を停止致します 京城府太平通一丁目五十九番地 三陟開發株式會社 三陟鐵道株式會社

お肌を護らう ウテナバニシングクリーム 一家に一瓶！ 洗顔後入浴後 肌アレ豫防に お化粧下に ヒゲソリ後に 外出前に

事務所移轉通知 今般都合に依り左記へ移轉仕り候條何卒倍舊の御引立に預り度く此段御願ひ申上候 敬具 昭和十八年三月 仁川府□町一丁目十七番地 大和組本店 電話一〇五、三三〇、七八〇

黄金町入口 日本生命東 皮膚泌尿性病科 醫學博士渡邊

ドモリ 患者及父兄に告ぐ

科經神 醫學博士服部六郎 醫學博士明柱完 城北病院

ここも戰場だ 結核體質の改善に ヨード含有量昆布の千五百倍 オスキュー

感冒 扁桃腺炎 中耳炎 齒槽膿漏 化膿症一般 アルバジール錠 山之內製藥株式會社

大內家御用達 ニッシャマ

優秀木工機械 弘瀨商店

夫申平儀豫而病氣中の處養生不相叶本三月二十一日午前九時五分京城帝國大學附屬病院に於て死去仕候間茲に生前中の御厚誼を拜謝致し此段御通知申上候 追而葬儀は來る三月二十三日午後四時自宅に於て佛式に依り相營み申候 昭和十八年三月二十一日 京城府漢江通一丁目二六三番地 妻 大內ユキ 親戚總代 大內安 友人總代 丸井敦治

當分園副分園長大內申平殿儀豫而病氣中の處養生不相叶本三月二十一日午前九時五分京城帝國大學附屬病院に於て死去仕候に付茲に生前中の功績に對し謹而敬弔の意を表し此段御通知申上候 昭和十八年三月二十二日 京城龍山警防團第二分團

妻イキノ儀豫て日赤仁川療養所に於て療養中の處養生不相叶三月廿日午前六時四十八分死去致候間此段謹告候也 追て告別式は三月二十二日午後五時自宅に於て相營可申候 昭和十八年三月二十一日 京城府錦兵場三六 夫 飯塚喜平 親戚總代 江塚義藏 友人總代 大角熊次郎 稻賀美隆利 小垣基一 村兵次

躍進する半島の無煙炭

月曜特輯

決戰下朝鮮產業の戰力增強について最も緊要なるものは動力、一般的には燃料政策の安定確立である、朝鮮の如き特殊の經濟事情下にあつては農林產業部門も直接至大なる影響力を持つてゐる、小磯總理は右の觀點に立つて戰時產業政策中の重要なる一部門として燃料政策の再確立とこれが徹底實踐に着手することとなりこの實踐方法として石炭政策を無煙炭の使用に轉換せんとしてゐる、即ち電力、特殊炭を除き家庭用、工業用、鐵道用の燃料は成るべく無煙炭、石炭を無煙炭消費に切り替へむとしてゐる、かくして半島戰時產業政策に重大影響ある燃料政策は無煙炭利用をその舞台に選んだのである

驚異・煉炭工業
燃料界の王座を占む

今や無煙炭時代

去る廿三日總督府に開いた無煙炭利用強化委員會ではその結論として次の十項目を答申し總督府もこれを採り上げ實踐に移すことになつた、要綱は

一、無煙炭に關する認識昂揚
二、鐵道炭の轉換
三、一般工業用及び軍工場用燃料轉換
四、煉炭の增產及び利用
五、家庭用燃料の轉換
六、轉換所要資材器具の優先配給
七、家庭の主婦、女中及び工場の火夫ら直接使用者の教養
八、燃燒研究機關の整備
九、輸送力の增強
十、無煙炭生產の增強

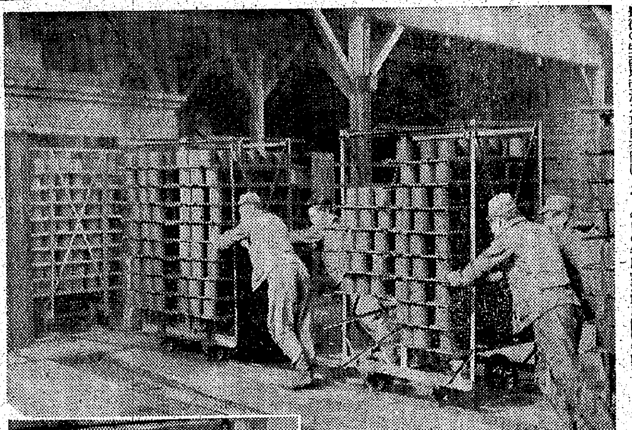
最後の生產增強なる項目を除けば全て所謂題目で實踐のみが殘された途である、しかして無煙炭利用強化方法としては

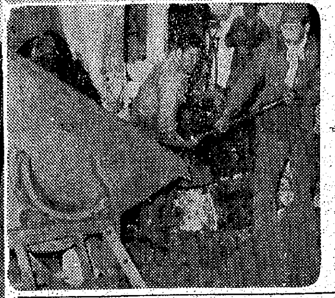
一、無煙炭をそのまゝ利用する擴大策
二、無煙炭を高級化し即ち煉炭などの加工品として使用部門を擴大する策

の二つがある、更に消費轉換、例へば瓦斯から煉炭へ、鐵道、工業用有煙炭を無煙炭または煉炭へなどの方策と新たに無煙炭利用部門の積極的な擴大方策がある、また電氣化學工業用、製鐵用、製鋼用その他技術研究による發展が考へられ、これは既に具體的となつてゐる、今日の半島が決戰段階に寄與し得るものはかかる點であり、他面からみれば內外に最も先進してゐる具體的部門の一つはこの無煙炭利用強化であるとも云へるであらう

煉炭工業の飛躍

その最大なるものは煉炭製造能力の飛躍的發展である、生炭利用の方途によるより加工高級化した煉炭利用の方途が遙に廣い消費面を持つてをり、またあらゆる燃料轉換を容易にするからである





煉炭の出來るまで　寫眞上＝出來上つた煉炭を成煉室に運ぶ　下右＝原料をこね上げる　下左＝ベルトの運轉に豆炭がコロ／＼生れる

しかも殘された極微的燃料をなす鮮產無煙炭の特質を活かした生炭利用の方途を本格化するのでなければ半島燃料政策の實踐だとはいへない

かうした半島の新燃料政策に乘つて現在鮮內に許可された煉炭工場數は八十六、そのうち操業中のものは七十三、殘る十三工場が建設中である、能力一萬トン以上の工場數は十九工場、まさに半島燃料工業の名に値する觀を持つてゐる、總督府ではこの煉炭工業について地方分散主義をとりつゝ中心を再編成によつて整備統合した朝鮮煉炭に置くことに決定し、許可方針も同社への合併を條件として許可してゐる、朝鮮煉炭所屬工場は▲平壤▲京城第一（近く一部を廢鎖し移轉、殘部は釜山、仁川へ移轉する）▲同第二（清涼里）▲咸興▲和順▲大田▲仁川▲釜山の八工場などで大きい部門は主として鐵道用煉炭製造に向け、餘力で民需煉炭を製造することになつてゐる

朝鮮は內地消費量の十倍

これ等工場の製造能力は實績に於いて全鮮の七〇パーセントから六〇パーセント占めてゐる、同社の清涼里工場はかかる中にあつて朝鮮煉炭の中央工場として新しく建設しつゝあるものであり、東洋一を呼號する新銳能力を誇つてゐる、京城附近では朝鮮煉炭二工場を除けば六工場、これに同社京城第一工場を加へた能力とほぼ清涼里工場の年能力が匹敵してゐる、京城の煉炭必要量は年間四十萬トンといはれこれを戶數當にすれば二トン、愛知縣の〇・二トンに比較して十倍である

清涼里工場（正式には馬場町京城工場）は宿舍敷地約一千坪を入れて二萬一千坪、工場建坪約四千五百坪、豆型煉炭十四基、マセツク三基、豆煉炭一基の設備を有し完成すれば從業員は八百名の豫定である、設備は愛知縣大曾根町の五萬トン級工場設備をそつくり移駐して改造擴大したものでこれが陣頭指揮に當る長田工場長は大濱工場の所有者であり、初代の愛知縣煉炭卸商組合理事長であつた、五萬トン級工場といへば內地にあつても日產社ほか四、五を算するのみである

同社煉炭工場は現在約四分の一の操業で日產〇〇トン見當、六月には半ば操業し、八月には完成して日產〇〇トン、年〇〇トンといはれその半ばが煉炭、殘り半分がマセツクと考へられる、昨年八月十五日試運轉してから、十二月廿五日、煉炭工場の全試運轉に入り內地工場のみの經驗に立つた設備技術であらゆる惡條件と戰ひつつ大試煉を經たのであつた、しかして今後改良改造を要すべき點が多々あることを長田工場長自身が認めてゐる

勞務者の質的低位

例へば煉炭自動壓造機打器の一分間回轉は內地で六十回、鮮內は廿四、五回、本工場は初め廿回、今は四十回に達した、どう努力してもそれ以上には上らない、これは勞務者の質的低位および氣候風土の關係などによるものであらう、然しこれからは暖卵となり條件も勞務者の錬成も一日々々改善して來てをり、內地から來た幹部にも大分それらが呑み込めつゝあるから今後の能率改善は大いに期待してよからう

內地の一勞務者當り能率三トンにくらべ、この工場では〇、七トンであるが、近く／＼一人一トンに達するのは樂だといつてゐる、小物煉炭の或場合で內地は十一人位をここでは廿四人位かかつてゐる、これが能率低下の最大原因であり同時に機械化不足がこれに拍車をかけてゐるやうだ

未稼動であるがマセツク工場は內地一人當五トン、朝鮮はこの設備と今までの經驗から三トンは可能だといふ、煉炭大物工場及び小物工場は稼動して部分的にはそれぞれ可成り運行してゐるやうであるがまづ全面轉してゐると云へる

豆煉炭工場は目下公定價格もあつて市販してをらず試驗製造を續けてゐるといふことであるが、原料が配給される關係から餘り實驗をおいてゐないやうである、製品は却々優秀なものが出來てゐる

勞務者錬成の急務

建設中のものには修理工場その他附屬設備および試驗室がある、試驗室では公定價と質について相當突込んだ研究をやつてゐるといふ、本工場に於ける勞務者錬成の一つであらう、毎朝七時全員が集合して勤勞に當り今後は月に四回位職場別にこの指導幹部と中堅勞務者とが細かい技術の經驗から生活體驗まで相互に語合ひ指導して行く會合を開くことになつてゐるといふ

朝鮮煉炭製品が優秀であるといふ事實の裏には工場生產、技術とか言つたもののほかに原料組成の卓越がある、それは原料炭種について總督府自由であることである、これは煉炭工業のみの問題でなく石炭一般の常識として單味消費より組合せ使用が合理的かつ効率的なのである、組合せることによりそれぞれの短所が消され獨特のいゝ點となるばかりか、長所も一種が孤立してあるよりは十分にその効率が發揮出來る譯でここに混炭の技術と經驗研究が物をいふのである、これは實が物理的組合せとなると考へるより化學的關係に立つて新しい價を作ると考へるのが正しいやうだ、將來の煉炭工業は徹底的に混炭コストを切下げるための工業化してゐるといふ意味においても混炭研究の發展に餘程力點を置かねばならないだらう

定說を覆す粘結劑の助燃力

更に他の一點は煉炭工業の生命である粘結劑の問題である、ピッチ不足に代るパルプ廢液使用が最早一般化したのであるが、パルプ廢液はたゞ粘結劑としてのみ價值があり助燃劑としてはあまり効果はないものといふのが定說であつた、しかしこゝではあらゆる實驗により立派な助燃効力があることを立證し得た、着火度を低める、火勢、熱いづれも十一パーセント程度で倍以上に上るといふことである、これもパルプ廢液自身としては少しも助燃性を示さないが、煉炭の中に入れることによつてはじめてその卓絕した力を出すのである、現在の時價はトン內地渡四十五、六圓見當であるが、輸送費その他諸經費に損失、加工賃を合算した工場持込み値段は百圓乃至百十圓見當であり、旅費は高いものでトン十八圓程度、ここに市場價格と生產數の問題が發生してくる、各社各工場ともこの邊に苦心と努力を結集してゐるやうだ

企業の整備、これが煉炭の場合にも最も大切な命題となつて來る、自然の形をとるにしろ、行政手段その他の外部的強制力の形をとるにしろ企業の整備は必至である

量より質の課題

結論として主原料である無煙炭に惠まれた半島の煉炭工業が政策的消費利用強化のため再建設、擴大されつつあるが、未だ粗工業以前の形態を脫し得ないことはそれ自身の發展を制約するのみでなく半島燃料政策の轉換を實踐において弱めることになる

現在採りつつある量的擴張方策を承認することが出來るとしても質の問題の解決を見逃すことは出來ぬ、この質の問題は增產と並行した二大課題であるが、同時に他面消費の合理化もゆるがせに出來ぬ課題である、節約、乃至合理化と云つても單純に節約すると云ふ一面とその效率を最高に出し盡して消費すると云ふ一面とがある、半島の煉炭工業が現在既に〝工業〟と名附くるに相應しい獨立產業となりつゝある事實を國家國建設の建前から喜ぶと共に更に消費の新體制確立の必要性を切實に感ずる、今後官民一體の協力により、この方面にも一段の飛躍が望ましい

大いなる祭【100】

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

新しき地圖（十二）

扉がひらかれた。

その瞬間、琴子ははつとして、うしろへのめりさうになつた。見る影もなく瘦せ衰へた金井が、兩眼を据ゑてまじまじと彼女を瞶めたからである。絕體絕命、すべては暴露したか……。

が、次の瞬間、金井の唇から漏れた言葉は意外だつた。

『姉さん……』

金井は、琴子に向つて呼びかけた。

『姉さん、姉さんは何處にゐる……』

琴子は思はず息をのみ、白鐵もさつと顏色を變へて、方をかへりみた。と、白鐵が

『仁鐵、あたしはこゝにゐるわ』

『え、何處だ』

金井は苛立つたやうに、姉の聲のした方に向き直りながら、

『姉さん、何處だ』

さう云つて、彼は兩手を水平にさしあげ、足もとをさぐるやうにしながら、姉に近づかうとした。

『仁鐵、あんた、どうしたの。あたしはこゝにゐるぢやないか』

『姉さん、僕にはまるで見えない』

『え』

『何處だ、何處だ』

金井は手に觸いて床の上に跪つた。白鐵は、走りよつて、

『仁鐵、どうしたの。お前、目をどうかしたの』

『姉さん、どうしたんだらう。僕はまるで、目が見えないんだ。霞がかゝつてゐるやうで、姉さんの顏もなにも判らないんだ』

『そいつはいけないな』

暖も眉をひそめて呟くやうに云つた。

『榮養不良で視神經をやられたんぢやありませんか』

『視神經を……』

白鐵は息を呑つたやうに、

『仁鐵、あんた、いつから……』

『知らん』

金井は悲しさうに首をふつて、

『姉さん、僕は、目が見えない方が仕合はせか知れんよ』

『まあ、あんた、何をいふんです。ほんとに何も見えないの。ほんとに……』

金井はそれに答へなかつた。うつろな目を一點に凝らしたまゝだつた。

『白鐵さん』

と暖は、しげ／＼と金井の顏を見まもりながら

『さう心配することはないと思ひますがね。榮養さへとれば、又もとの視力に恢復しますよ』

『でも……』

白鐵は氣を揉んで、

『誰か眼醫者に診てもらひませう。暖さん、お願ひするわ』

『よろしい』と暖は合點して、

『聞いてあげませう』

さう云つて、暖は、すぐ廊下の外へ足早に消えて行つた。金井はその氣配に耳を傾けてゐたが、

『姉さん、この部屋に、姉さんのほかに誰かゐるんですか』

『えゝ』

『誰です』

『女の人よ』

『さう、女の人か……』

金井は獨言のやうに云つたが、

『姉さん、水を一ぱいくれませんか』

と註文した。

新刊紹介

▲南方圈綜合講座（東京商工獎勵館編）昨年六月前者主催の南方圈事情講習會に於ける講演內容を一冊に取纏めたもの、辻村教授の地形概觀、樋崎教授の交通問題、上坂教授の交易問題、兩宮教授の水產資源、三浦教授の樹木生產物といつた內容で各講目權威教授は各々斯界の權威者である、單的直截にその基礎知識を把握せしむるに足る書（三圓・東京、神田錦保町二ノ二〇新潮社）

吸⇨収の早いビタミンA・D劑

一般肝油や濃縮肝油製劑と異り消化も吸收も迅速にて胃腸を害せぬ全肝臟A・D劑

虛弱兒　結核に

エーデー

水產化學製造

農林省水產試驗場創製

京日案內

案內料金（前金）	
種別	一件一回税込
一號型（三行）	金參円參拾錢
二號型（五行）	金五円五拾錢
三號型（十行）	金拾壹円
求職・一號型	金壹円六拾五錢
姓名在社料	毎一回　壹円拾錢增シ

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型（三行）

賣却　理髮館營業中住宅付　京仁地方　電話本局七四八五番

求資　四五千圓大至急に要す　確實有利同業又は投資家を求む　電話三八九〇番　大倉

二號型（五行）

工場を求む　府內にて貸にても可工作場倉庫、敷地共三〇〇坪內外のもの至急望む　電話　佐

女子事務員採用　高女卒業者履歷書携帶來談ありたし　京城本町二丁目　株式會社村木時計店　電本四七一

賣家　府內安國町四〇の七十餘坪石及煉瓦造二階建の方は本人直接訪問し　株式會社に來談ありたし

求倉庫　付貸事務所　市內にて交通至便二百坪內外の建坪　京城太平通二ノ五〇　岩谷商店證券株式會社　電本七四三

三號型（十行）

貸工場を求む　府內五十坪位迄　京城門通り五丁目　タクミ商事株式會社　電話本二三〇番七九六三番

交換　手募集　經驗ある者又は經驗なき者本人自筆履歷書持參　三時より二時迄　京城文店

住宅至急讓る　府內近接町三八番地三七坪木造瓦葺平家建　電話取次本局二一四　清水

馬具　馬具の御用は　白川馬具商店　京城鍾路五丁目　電話光化門二五六三番

店員募集　一、高小卒又は同程度の女子　二、國民學校卒の男子　希望者は履歷書持參本人來店あれ　京城府鍾路二丁目八番地　株式會社　森永

男子農場員採用　關東、關西、九州、北海道　年齡四十五歲以下三月廿八日迄の者を採用す　希望者は寫眞を左記へ郵送の上其他詳細は面談の上通知し　加藤安岳農場

タイピスト採用　高女卒業程度二年以上の經驗者　朝鮮織染工業

タイピスト採用　京城府　アサヒゴム

白內科　京城府瑞麟町十番　醫學博士白川基昊　X光線入院室完備　電話光三四八九番

ピアノ　オルガン　完全調律、修理、買賣　京城府本町二丁目

面目一新　自動車便有り　新型豊富　禮式　中央禮式部　京城府西大門町二ノ一

整形科　土井耳鼻咽喉科醫院

劇場	番組
城南劇場	廿二日ヨリ二十六日マデ　日本ニュース第百四十五號　文化映畫　雪と遞信　松竹映畫抒情大作　湖畔の別れ　花柳小菊　德大寺伸　夜の部七時
中央劇場	二十二日ヨリ二十六日迄　日本ニュース　雪と遞信　松竹映畫超特作　湖畔の別れ　德大寺伸　藤澤秀夫　花柳小菊　春日英子
和信映畫館	二十二日より二十八日迄　日曜祭日は午前十時半より上映　日本ニュース（最新版）　ホームグラフ　雜草夫人　空中寫眞測量
朝日座	二十四日より三日間　現代劇と劍戟　新進座一黨　一、爆笑海すゞと診藥　二、討入武士道　三、雪の夜話これぞ男の道　毎夕六時開演
桃花劇場	廿日ヨリ三日間　日活特作　海の豪族　嵐寬壽郎主演　文化映畫　はらから　日本ニュース
大陸劇場	二十二日より　日本ニュース　赤外線寫眞　エノケン森の石松　素晴らしき結婚
浪花館	十九日ヨリ上映　ニュース　東京港　解說付無聲版　奴の小萬　獨乙ネロ映畫　假面の王者
新富座	二十日ヨリ三日間　半島一大名畫同時上映　日本ニュース　文化映畫　潜水艦　洪吉童　豐年歌
東洋劇場	青春座公演　三月十九日より　『コンチパツチ』四景九場　演出・洪海星　裝置・元雨田
喜樂館	三月十七日より五日間　日本ニュース　聖戰部隊　大映特作　三代の盃　片岡千惠藏
京劇	廿二日より　日本ニュース　擊ちてし止まむ　華やかなる幻想
城寶	十五日ヨリ二十一日マデ　朝鮮に來た俘虜　ハナ子さん
鍾路文化劇場	二十一日ヨリ五日間　文化映畫　アサヒホームグラフ　上山草人主演　船と將軍　日本ニュース最新版
明治座	二十二日より　日本ニュース　擊ちてし止まむ　陸軍航空戰記
京日文化劇場	二十二日ヨリ二十八日　文化映畫　雪國と馬　アサヒホームグラフ　日本映畫社特作　漫畫子寶　行進曲　擊ちてし止まむ
若草劇場	二十二日上映時間　日本ニュース　擊ちてし止まむ　陸軍航空戰記

擊ちてし止まむ　全三卷

後援…陸軍省報道部　製作…社團法人日本映畫社

敵海洋のさなかに潜まば　我は萬里の波濤をしのぎて　うちてし止まむ

我が劍とわが砲とをもて　わが爆彈と、しかして　わが肉彈とをもて　うちてし止まむ

二十二日より封切　配給 朝鮮映畫配給社

—同時上映—　☆日本ニュース　☆アサヒホームグラフ　曲馬　☆漫畫子寶　行進　☆雪國と馬

京日文化映畫劇場　昭和通　三中井

小兒科內科　橫山醫院　黃金町六丁目電停前　醫學博士橫山久衛　電話東局二二一六　入院應需

城東商科學校　生徒募集

東亞工科學院　生徒募集

文化中學院生徒募集

素晴らしき結婚　廿二日ヨリ廿四日マデ

眞山くみ子　若原雅夫　飯田蝶子　山口勇　演出 沼波功雄

エノケンの森の石松　榎本健一　柳家金語樓　竹久千惠子　鳥羽陽之助　小杉義男　エノケン一座總出演　造虎澤廣

大陸劇場

22日ヨリ3日間　新興京都超特作

荒木又右衛門　仇討の日

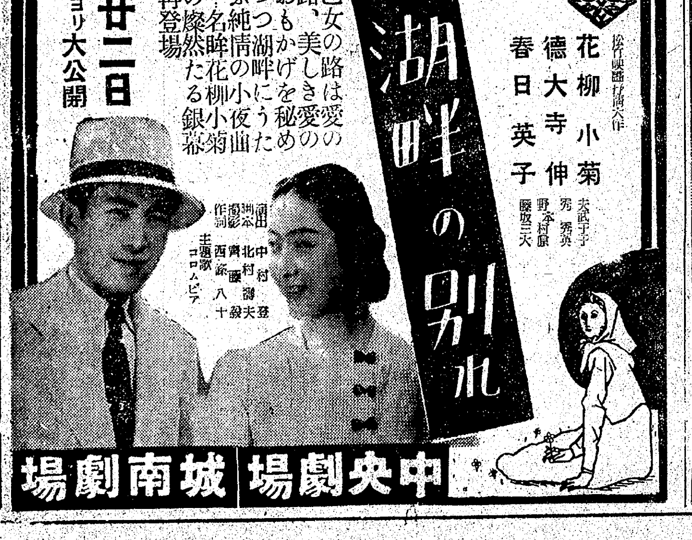
原作 岡本綺堂　脚色 八尋不二　演出 西原孝

市川右太衛門　大友柳太郎　歌川絹江　南條新太郎　東良之助　葛木香一　共演　主演

新興キネマ特作　花嫁の喧嘩　上山草人

朝鮮映畫配給社提供

京城喜樂館



湖畔の別れ　松竹映畫抒情大作

花柳小菊　德大寺伸　春日英子

乙女の路は愛の路、美しき愛のおもかげを秘めつつ純情湖畔に夜曲ふ名畔花柳小菊の燦然たる銀幕再登場

廿二日ヨリ大公開

中央劇場　城南劇場

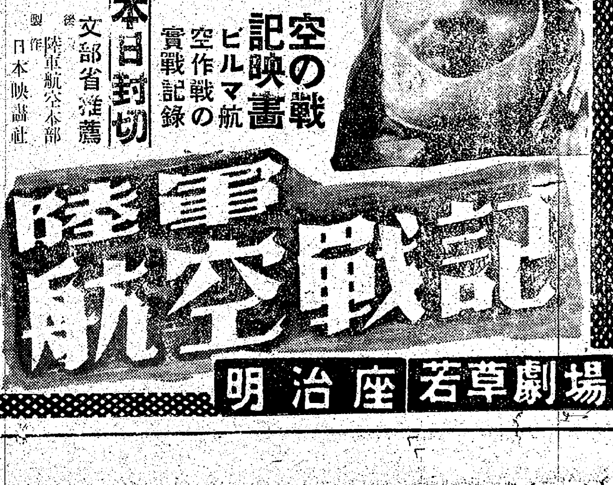
華かなる幻想

新雪の明朗青春コンビ月丘夢路・水島道太郎の近代的魅力があなたを甘い感情と抒情のとりこにしてしまふ！

新雪の名コンビ　水島道太郎　月丘夢路　千明明子　二葉陽子　上山草人

演出 佐伯幸三　朝鮮映畫配給社提供

京城劇場　京城寶塚劇場　二十二日封切！



陸軍航空戰記

空の戰記映畫　ビルマ航空作戰の實戰記錄

本日封切　文部省推薦

後援 陸軍航空本部　製作 日本映畫社

明治座　若草劇場